

電キャビ

2019

トレーニングマニュアル
(AutoCAD/BricsCAD共通)

応用編

ご注意

本マニュアルの内容を全部または一部を無断で記載することは禁止されています。

本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果についての影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

製品名は各社の商標です。

電キャビトレーニングマニュアル(応用編)目次

1 章. はじめに.....	1
1-1. 本マニュアルについて.....	2
1-1-1. 本マニュアルの内容	2
1-1-2. 本マニュアルの流れ.....	2
1-2. 電キャビの起動とメニュー	3
1-2-1. 電キャビの起動方法	3
1-2-2. 管理ツール(設定)のメニュー	4
1-2-3. 電キャビツールバーの表示	4
2 章. 目次作成.....	5
2-1. 目次作成の準備.....	6
2-1-1. 目次作成の準備と流れ	6
2-1-2. 目次専用の図枠作成.....	6
2-1-3. ACAD-DENKI環境名の確認.....	8
2-1-4. 階層設定での設定確認	9
2-2. 目次テンプレートの作成.....	11
2-2-1. 目次テンプレート新規作成	11
2-2-2. 目次テンプレートで選択する図枠について.....	16
2-2-3. 目次テンプレート作成ダイアログと目次図面について.....	17
2-3. 目次作成実行	18
2-3-1. 目次作成時のご注意	18
2-3-2. 目次作成の設定	18
2-3-3. 目次作成の実行	20
2-3-4. 目次図面の確認	20
2-3-5. ファイルプロパティからの目次項目編集.....	21
2-3-6. 目次作成画面からの項目編集.....	22
2-3-7. 行の編集	24
2-3-8. 目次図面の確認	27
2-4. 目次図面のテンプレートの修正.....	29
2-4-1. 目次テンプレート修正.....	29
2-4-2. 目次の再作成	31

3 章. 履歴管理.....	35
3-1. 履歴管理編集について	36
3-1-1. 履歴管理編集を行う前の準備	36
3-1-2. 履歴設定	36
3-1-3. 履歴欄作成	40
3-2. 履歴管理編集	43
3-2-1. 履歴管理編集(物件単位 - ページ編集).....	43
3-2-2. 履歴編集(物件単位-物件編集).....	45
3-2-3. 履歴編集(ページ単位-ページ編集).....	47
3-3. 履歴情報の変更と追加	49
3-3-1. 情報の確認	54
3-4. 履歴管理編集での注意点	55
3-4-1. 物件単位の物件とページの履歴編集.....	55
3-4-2. ページ単位の履歴編集	56
3-4-3. 表示設定について	56

1 章. はじめに

電キャビトレーニングマニュアル【応用編】を行っていただく前の確認事項・トレーニングの流れを説明します。

1-1. 本マニュアルについて

本マニュアルの内容と流れについて説明します。

電キャビトレーニングマニュアル【入門編】を終了・習得されたことを前提に作成しています。

本マニュアル内では、電キャビ使用CADをACAD-DENKIと表現しております。

他の弊社製品 (ACAD-DENKI以外) をご使用の場合、ご使用の製品名に置き換えてご参照ください。

本マニュアルの画面ダンプはあくまでも一例です。実際の画面とは異なる場合があります。

本マニュアルのCAD部分の説明は、BricsCADを使用しています。

AutoCADをご使用の場合は、AutoCADと置き換えてご参照ください。

電キャビ起動画面 (ボリューム以下のフォルダ構成) の内容につきましては、一例として構成しています。

すでに、電キャビでボリューム以下のフォルダ構成を設定されている場合は、トレーニング用のフォルダを新たに作成された上で本マニュアルを運用してください。

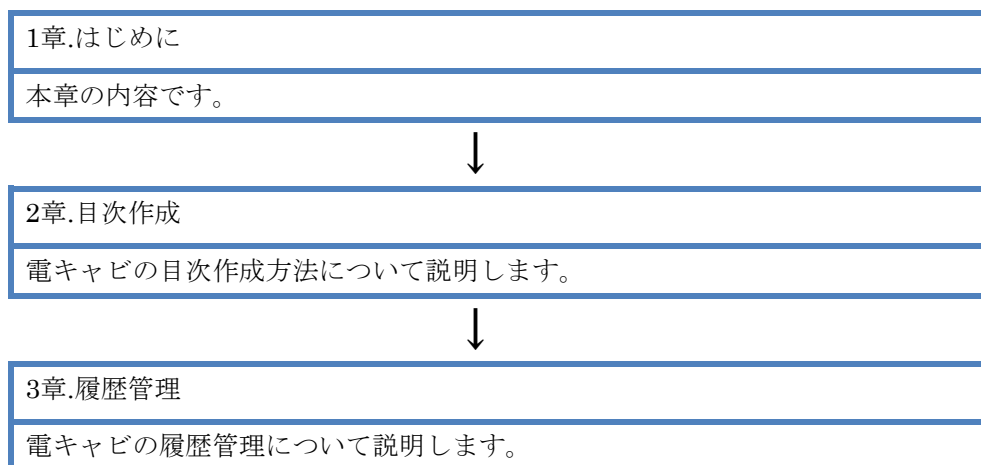
1-1-1. 本マニュアルの内容

本マニュアルでは下記の内容について確認します。

- ・電キャビの環境について確認します。
- ・電キャビの目次作成の操作方法について確認します。
- ・電キャビの履歴管理の操作方法について確認します。

1-1-2. 本マニュアルの流れ

本マニュアルの流れをフローチャートでご紹介します。



1-2. 電キャビの起動とメニュー

電キャビの起動方法について説明します。

1-2-1. 電キャビの起動方法

- ・ デスクトップの電キャビのアイコンから起動
デスクトップの電キャビアイコンをダブルクリックします。
大アイコン(中アイコン)表示 小アイコン表示

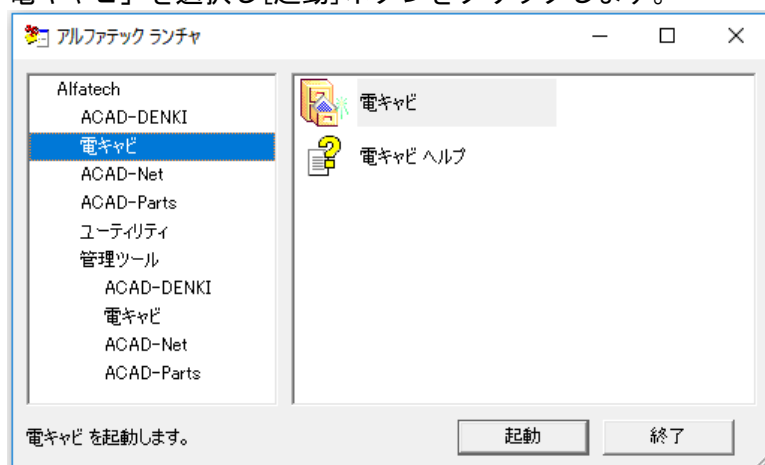


- ・ スタートから起動

Windows10

[スタート]-[すべてのアプリ]-[A]-[Alfatech]-[アルファテック ランチャー]を選択します。

アルファテックランチャーの左ペインの[Alfatech]-[電キャビ]を選択し、右ペインで「電キャビ」を選択し[起動]ボタンをクリックします。



Windows8. 1/8

[スタート]-[アプリ]を表示します。Alfatech欄から[アルファテック ランチャー]を選択します。

アルファテックランチャーの左ペインの[Alfatech]-[電キャビ]を選択し、右ペインで「電キャビ」を選択し[起動]ボタンをクリックします。

Windows7はスタートメニューから起動します。

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[電キャビ]-[電キャビ]を選択します。

1-2-2. 管理ツール(設定)のメニュー

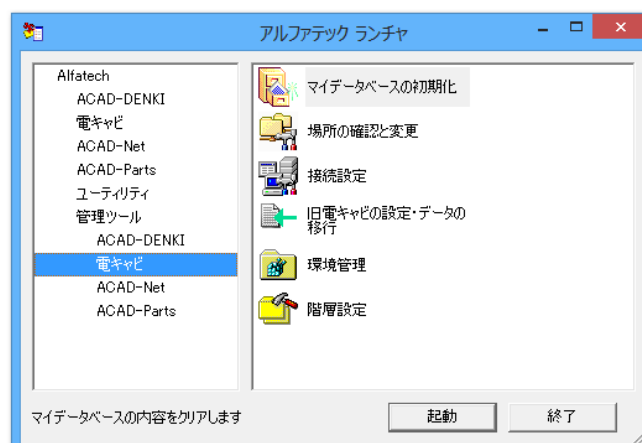
1. 電キャビの設定内容を確認します。[管理ツール]-[電キャビ]を選択します。

Windows10、8.1、8

アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」-「管理ツール」-「電キャビ」を選択します。

Windows7

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]を選択します。



1-2-3. 電キャビツールバーの表示

電キャビアイコンツールバーの表示方法について説明します。

ACAD-DENKIインストール後、デフォルトは電キャビ(目次テンプレート作成/履歴欄編集)アイコンツールバーは非表示となっています。

1. ACAD-DENKIを起動します。

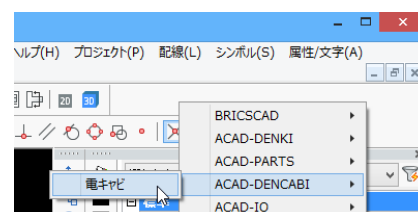
デスクトップのアイコン(右図)をダブルクリック、もしくは、アルファテックランチャーから[Alfatech]-[ACAD-DENKI]を選択し[ACAD-DENKI]をダブルクリックします。



※もしくは電キャビから任意の図面を開きACAD-DENKIを起動してください。

2. CAD画面のツールバーアイコンが表示されていない箇所でも右クリックします。

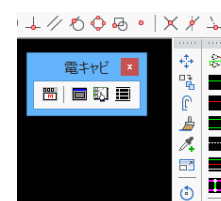
ロードされているメニューの一覧が表示されます。



3. [ACAD-DENCABI]-[電キャビ]を選択します。

4. 電キャビツールバーが表示されます。

※電キャビメニューはツールバーのみです。ベースCADメニューバーには表示されませんのでご注意ください。



アイコンの説明



(目次テンプレート作成)



(履歴管理編集)



(履歴設定)



(履歴欄作成)

2 章. 目次作成

電キャビの目次作成方法について説明します。

2-1. 目次作成の準備

目次を作成するための操作手順を説明します。

2-1-1. 目次作成の準備と流れ

目次専用の図枠作成（準備）



階層設定の図種・用紙タブへの登録、図枠転記情報の確認（準備）



目次テンプレート作成（準備）



物件フォルダ単位での目次作成（実行）

2-1-2. 目次専用の図枠作成

目次作成を行うために目次専用の図枠を設定します。

物件内の図面の中で、目次専用図枠を使用している図面を目次と判断します。

1. ACAD-DENKIを起動します。

2. [シンボル]-[図枠作成・編集]を選択します。

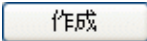
図枠作成ダイアログが表示されます。

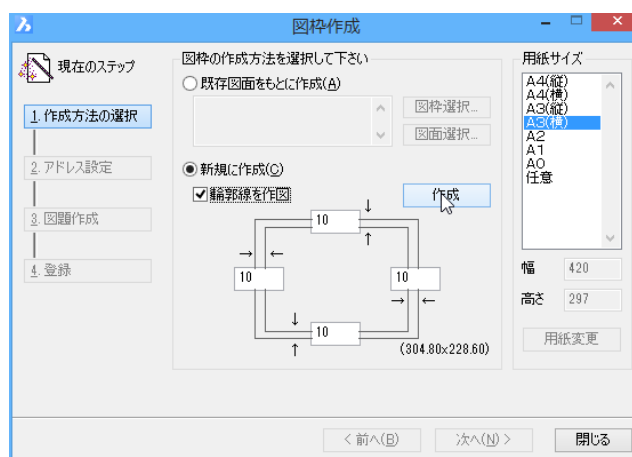
3. 右図のように設定します。

◎ [新規に作成]（選択）

■ 輪郭線を作図（チェック入力）

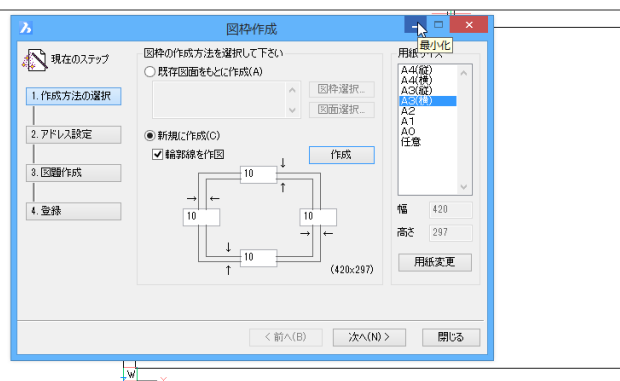
■ 用紙サイズ A3(横)（選択）

 をクリックします。



4. 枠が作成されます。

図枠作成ダイアログは最小化します。



5. 右図を参考に図枠の上部に線分を引きます。

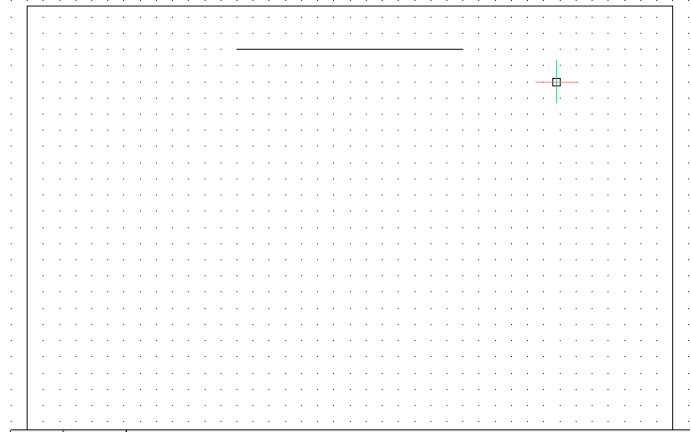
[作画]-[線分]を選択します。

コマンドラインに以下のように入力します。

140,260 Enter

280,260 Enter Enter

※ベースCADによりメニュー表現が違います。



6. [属性/文字]-[文字入力]を選択します。

文字入力ダイアログが表示されます。

-文字列-

◎単独配置(選択)

文字列[目次](入力)

-文字オプション-

画層 [現在の画層]

文字スタイル [Standard]

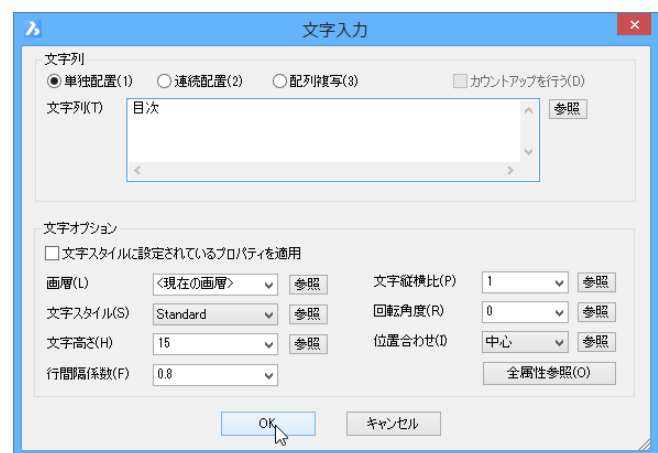
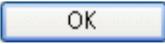
文字高さ [15]

行間隔係数 [0.8]

文字縦横比 [1]

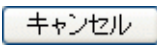
回転角度 [0]

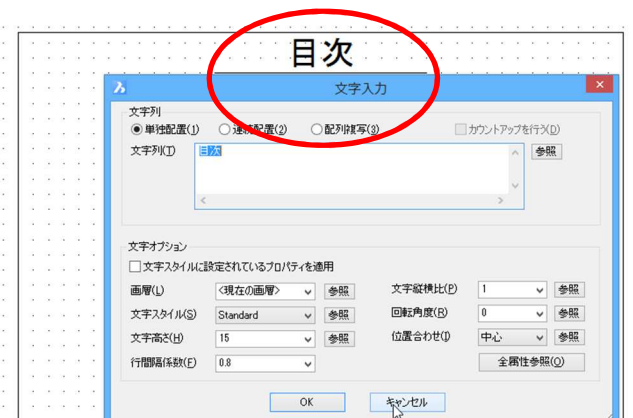
位置合わせ [中心]

7.  をクリックします。

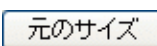
8. 右図を参考に線分の上をクリックして文字を配置します。

配置後、文字入力ダイアログは

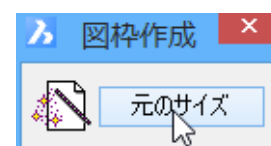
 をクリックして終了します。



9. 図枠作成ダイアログは

 をクリックして元のサイズに戻します。

図枠作成ダイアログの「現在のステップ」から[4.登録]をクリックします。

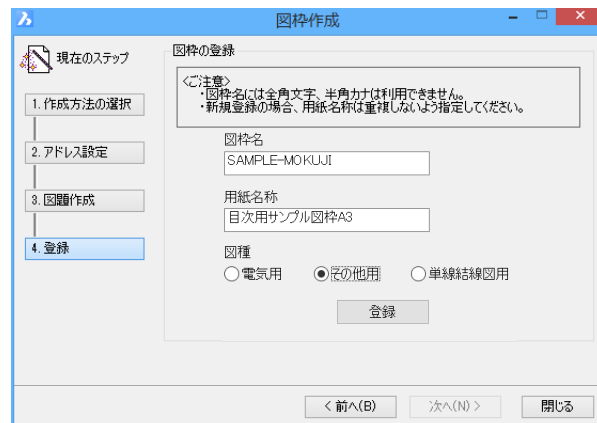


10. 図枠名、用紙名称を入力して登録します。

図枠名 : SAMPLE-MOKUJI

用紙名称 : 目次用サンプル図枠A3

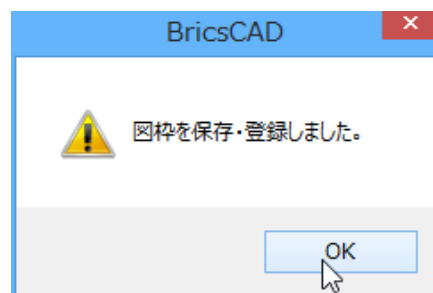
をクリックします。



11. 確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。

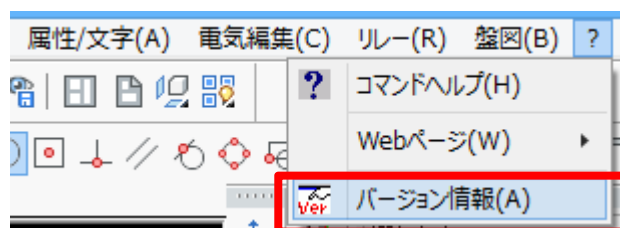
図枠作成が終了します。



2-1-3. ACAD-DENKI環境名の確認

作成した目次専用の図枠を、電キャビで選択できるように階層設定で設定します。

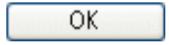
1. [?]-[バージョン情報]を選択します。



2. バージョン情報ダイアログが表示されます。

環境バージョン情報の上に表記されている環境名を確認します。

環境名「ACAD-DENKI A環境」

3. をクリックしダイアログを終了します。

ACAD-DENKIを終了します。



2-1-4. 階層設定での設定確認

作成した目次専用の図枠を選択できるように、階層設定で設定します。

1. [階層設定]を起動します。

Windows10、8.1、8

アルファテックランチャー内の左ペイン「Alfatech」-「管理ツール」-「電キャビ」にある「階層設定」から起動します。

Windows7

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Alfatech]-[管理ツール]-[電キャビ]-[階層設定]を選択します。



本例で表示している環境は、電キャビトレーニングマニュアル(入門編)で作成方法を説明している設定です。

2. 「2階層」を選択します。

「2階層」が無い場合は、既に使用されている環境を選択していただくか、「電キャビトレーニングマニュアル(入門編)」をご参考に作成してください。

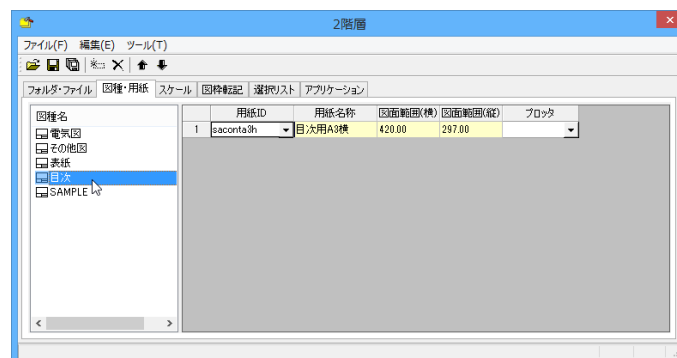
設定の編集(E)... をクリックします。



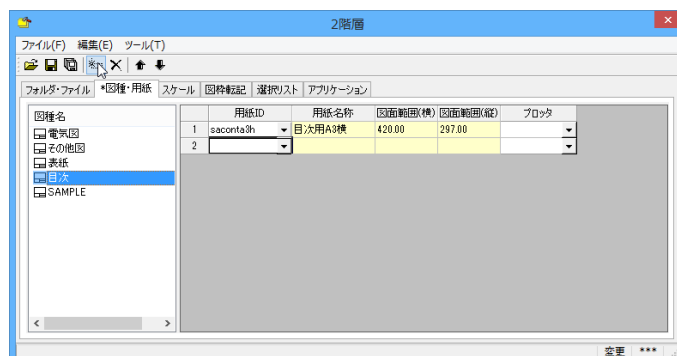
3. 「図種・用紙」タブを選択します。

図種名：目次を選択します。

※図種名に「目次」が無い場合は、先に作成してください。

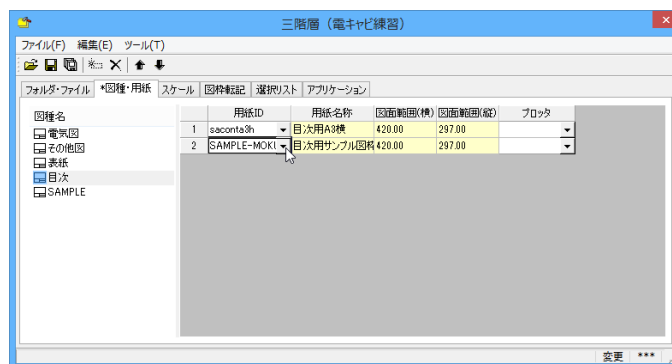


4. [項目の追加]アイコンをクリックして、1行追加します。




5. 図種IDの右側にある[▼]を押して図枠を選択します。

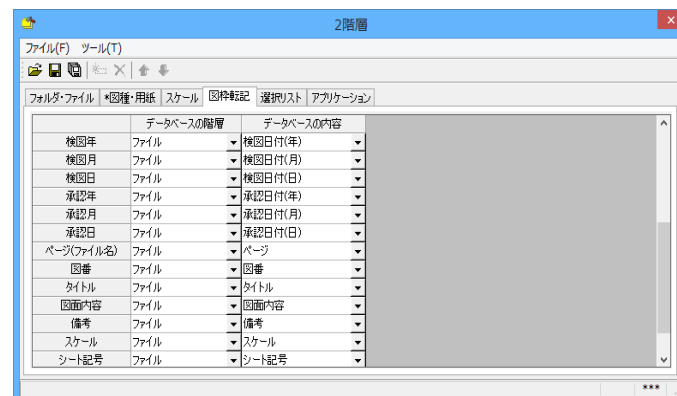
選択：SAMPLE-MOKUJI



6. 「図枠転記」タブを選択します。

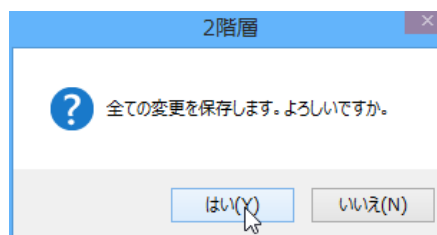
ここでは確認のみです。
変更を保存します。

 をクリックします。



7. 確認のダイアログが表示されます。

 をクリックします。



8. [ファイル]–[終了]を選択します。

2階層ダイアログが終了します。

階層設定ダイアログも[閉じる]をクリックして終了します。

2-2. 目次テンプレートの作成

目次のベースとなるテンプレートを作成します。

2-2-1. 目次テンプレート新規作成

1. ACAD-DENKIを起動します。

※ACAD-DENKIの起動はデスクトップの ACAD-DENKIアイコンをダブルクリックして起動します。

または、アルファテックランチャーから[Alfatech]-[ACAD-DENKI]を選択し[ACAD-DENKI]を起動し起動します。

※電キャビツールバーが表示されていない場合は「1-2-3. 電キャビツールバーの表示」を参照して表示させてください。

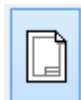
2. 目次テンプレート作成アイコンをクリックします。



3. 目次テンプレート作成ダイアログが表示されます。

右図では「新規にテンプレートを作成」アイコンが選択されています。

■アイコンの説明



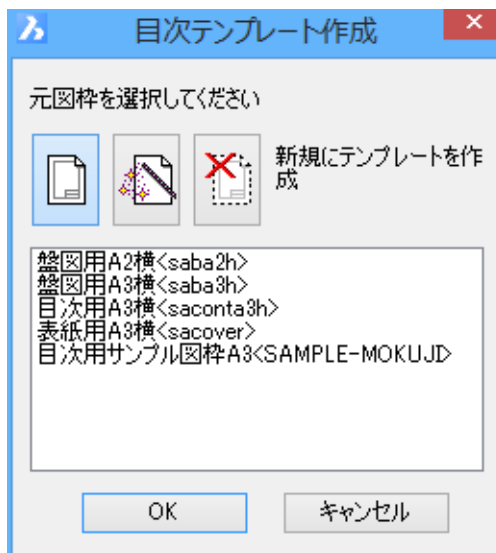
: 新規にテンプレートを作成



: テンプレートを修正



: テンプレートを削除



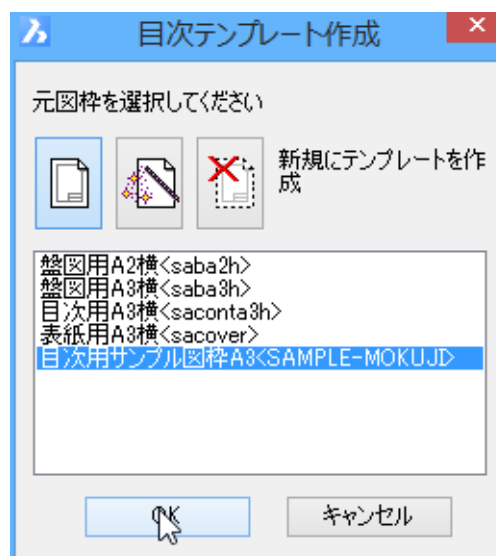
4. 新規に作成します。アイコンの下に表示されている図枠一覧から、使用する図枠を選択します。

選択例：目次用サンプル図枠A3
<SAMPLE-MOKUJI>

5.  をクリックします。

※目次テンプレート作成ダイアログに表示される図枠は、その他用図枠として登録された図枠だけです。

！目次テンプレートには専用の図枠が必要です。一般の図面に使用する図枠を選択しないようご注意ください。




6. 選択した図枠が開き、目次テンプレート作成ダイアログが表示されます。

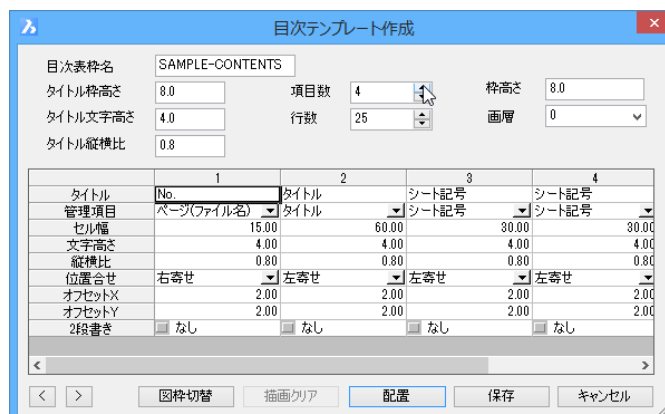


7. 目次の表枠形状の設定を行います。

目次表枠名：SAMPLE-CONTENTS


(入力)

項目数：4 ( クリックで増値)



■ 画層について

ここで指定する画層に、目次の表枠が作画されます。

画層の  をクリックすると、図枠に登録されている画層一覧が表示されます。



また、新たな画層名を入力すると、表枠を配置時に入力した名前で新たな画層が追加されます。

※画層に、ACAD-DENKIで専用のコマンド・オブジェクトが使用する画層、ロックされる画層 (AUX, TITLE など) や非表示画層 (PINOFF) を指定されないようご注意ください。

0画層もしくは、専用の画層をご指定ください。（参考ACAD-DENKI画層一覧例）

現..	画層名	説..	オ..	フ...	ロ..	色	線種	線の太さ	印刷入...	印..	新..	マテリアル
●	0						実線	デフォルト	色 7			Global
	AUX						実線	デフォルト	色 7			Global
	B_CODE						実線	デフォルト	色 7			Global
	BAN_NO						実線	デフォルト	色 7			Global
	BUS						実線	デフォルト	色 4			Global
	CENTER						-----CENTER	デフォルト	色 4			Global
	CMNT						実線	デフォルト	色 4			Global
	CN_NAME						実線	デフォルト	色 7			Global
	CSENBAN						実線	デフォルト	色 2			Global
	D_CODE						実線	デフォルト	色 7			Global
	DEVICE						実線	デフォルト	色 6			Global
	DJM						実線	デフォルト	色 4			Global
	DTYPE						実線	デフォルト	色 7			Global
	ECMNT						実線	デフォルト	色 4			Global
	G_DEVICECODE						実線	デフォルト	色 7			Global
	G_MAKERCODE						実線	デフォルト	色 7			Global
	GAWA						実線	デフォルト	色 7			Global
	HIDDEN						---HIDDEN	デフォルト	色 4			Global
	HISTORY						実線	デフォルト	色 4			Global
	HOJO						実線	デフォルト	色 5			Global
	IDENT						実線	デフォルト	色 7			Global
	JCMNT						実線	デフォルト	色 4			Global
	LOCK						実線	デフォルト	色 7			Global
	MAKER						実線	デフォルト	色 7			Global
	NAME						実線	デフォルト	色 4			Global
	NEWJIS						実線	デフォルト	色 7			Global
	NXDISP						実線	デフォルト	色 4			Global
	OLDJIS						実線	デフォルト	色 7			Global
	ORG_SYM						実線	デフォルト	色 2			Global
	PHANTOM						-----PHANTOM	デフォルト	色 4			Global
	PIN						実線	デフォルト	色 4			Global
	PINOFF						実線	デフォルト	色 6			Global
	RCMNT						実線	デフォルト	色 4			Global
	RELAY						実線	デフォルト	色 7			Global
	SENBAN						実線	デフォルト	色 4			Global
	SENDISP						実線	デフォルト	色 4			Global
	SENZAI						実線	デフォルト	色 4			Global
	SHIELD						---HIDDEN	デフォルト	色 7			Global
	SPEC						実線	デフォルト	色 2			Global
	SYMBOL						実線	デフォルト	色 7			Global
	TBL						実線	デフォルト	色 7			Global
	TITLE						実線	デフォルト	色 4			Global
	TRNAME						実線	デフォルト	色 7			Global
	TYPE						実線	デフォルト	色 7			Global
	USAGE						実線	デフォルト	色 1			Global
	WIRE						実線	デフォルト	色 3			Global
	WIREB						85 実線	デフォルト	色 85			Global
	WIREL						赤 実線	デフォルト	色 1			Global
	WIREO						---HIDDEN	デフォルト	色 7			Global
	WIREP						紫 実線	デフォルト	色 6			Global
	XREF						実線	デフォルト	色 4			Global

8. 目次の表枠形状内に入る文字項目の設定を行います。

※目次テンプレート作成ダイアログ

[項目1]から[項目4]部分

[項目1]

管理項目 : シート記号(選択)

オフセットX : 12.0

※管理項目に表示されるのは図題情報設定に設定されている図題です。

[項目2]

初期値のまま(右図参照)

[項目3]

管理項目 : ページ(ファイル名) (選択)

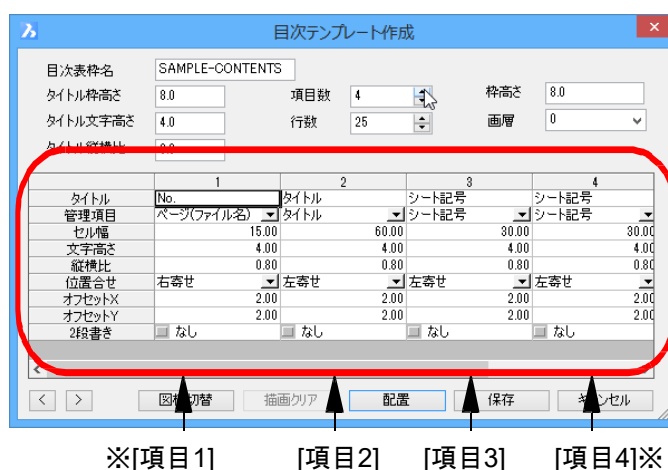
※管理項目を選択するとタイトルが変更されます。

[項目4]

管理項目 : 備考(選択)

2段書き : あり(チェック入力)

※項目内のコメントが2段書きされます。

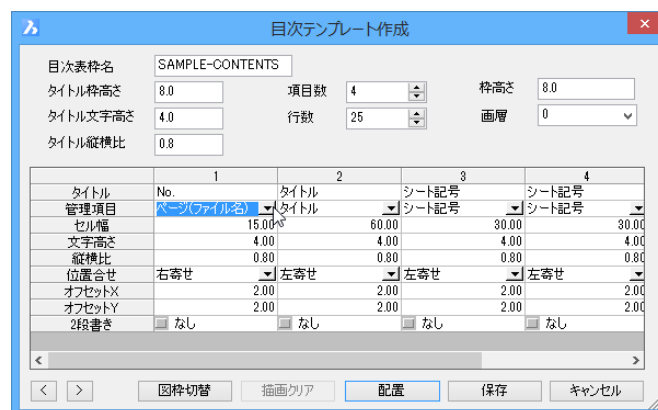


※[項目1]

[項目2]

[項目3]

[項目4]※



9. **配置** をクリックします。

10. 目次テンプレート作成ダイアログが非表示になり、コマンドラインに「枠の基点(左上)を指示」と表示されます。

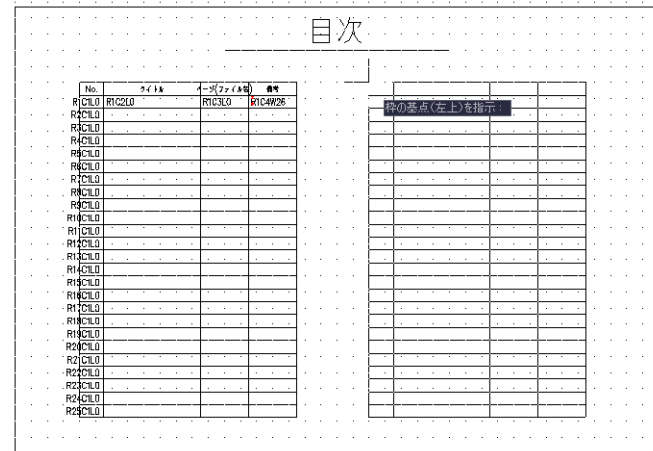
任意の位置をクリックして指示します。



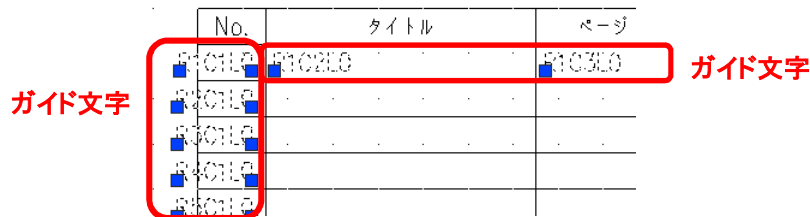
11. 続けて、右側にもうひとつ表形状を配置します。

Enterを押して、配置を終了します。

目次テンプレート作成が表示されます。



※ガイド文字(テンプレート配置時に同時に挿入される文字列)を移動しないようにご注意ください。



移動された場合は、目次自動作成で作成された目次表枠内の文字が移動前の位置に表示されます。

テンプレート配置時に、このガイド文字の配置位置を基点とするようにプログラムの方で調整しているためです。ガイド文字の位置を修正される場合は、目次作成テンプレートの項目を修正後、

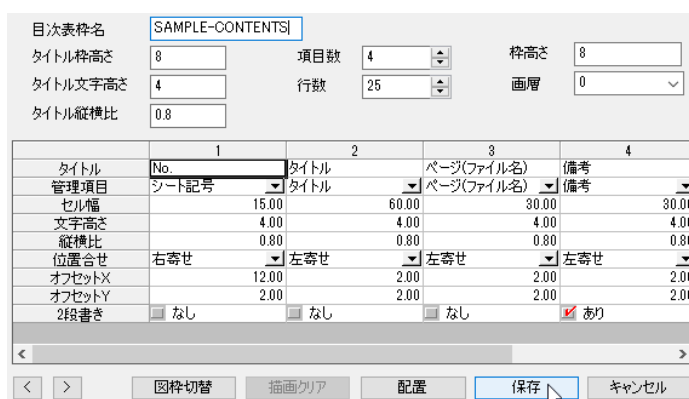
更新 をクリックしてください。

※配置した目次表枠を修正する場合は **描画クリア** をクリックします。図面の枠形状がクリアされ、グレイアウトされた項目が編集可能になります。再編集後、テンプレートを配置します。

※目次テンプレート作成ダイアログの編集可能な項目を変更した場合は、必ず **更新** をクリックして、内容を更新してください。

12. 目次テンプレート作成ダイアログからテンプレートを保存します。

をクリックします。



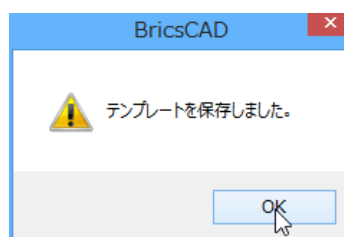
目次表作成ダイアログボックスのスクリーンショット。タイトル欄には「SAMPLE-CONTENTS」が入力されています。タイトル枠高さ: 8, 項目数: 4, 枠高さ: 8, タイトル文字高さ: 4, 行数: 25, 画層: 0, タイトル縦横比: 0.8。

	1	2	3	4
タイトル	No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
管理項目	シート記号	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
セル幅	15.00	60.00	30.00	30.00
文字高さ	4.00	4.00	4.00	4.00
縦横比	0.80	0.80	0.80	0.80
位置合せ	右寄せ	左寄せ	左寄せ	左寄せ
オフセットX	12.00	2.00	2.00	2.00
オフセットY	2.00	2.00	2.00	2.00
2段書き	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり

下部には「図枠切替」「描画クリア」「配置」「保存」「キャンセル」のボタンがあります。

13. 確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。



これで、目次テンプレート作成は終了です。

2-2-2. 目次テンプレートで選択する図枠について

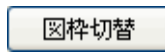
目次テンプレート作成で使用する図枠は、目次作成用図枠として作成された図枠をベースに作成してください。

目次作成では「設定」で「目次ページ」とあるという判別をするための専用図枠を登録します。

目次ページは設定された図枠を使用して作成されますので、目次判別、また、レイアウト位置を考慮するためにも、目次作成専用図枠をご使用ください。

※目次作成で使用する図枠は他の図面で使用しないでください。

テンプレートの図枠を変更する場合、目次テンプレート作成ダイアログの

をクリックして、図枠を変更することができます。

2-2-3. 目次テンプレート作成ダイアログと目次図面について
目次作成ダイアログ（右図）

目次テンプレート作成

目次表枠名: SAMPLE-CONTENTS

タイトル枠高さ: 8 項目数: 4 枠高さ: 8

タイトル文字高さ: 4 行数: 25 画層: 0

タイトル縦横比: 0.8

	1	2	3	4
タイトル	No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
管理項目	シート記号	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
セル幅	15.00	60.00	30.00	30.00
文字高さ	4.00	4.00	4.00	4.00
縦横比	0.80	0.80	0.80	0.80
位置合せ	右寄せ	左寄せ	左寄せ	左寄せ
オフセットX	12.00	2.00	2.00	2.00
オフセットY	2.00	2.00	2.00	2.00
2段書き	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり

< > 図枠切替 描画クリア 配置 保存 キャンセル

■各項目の説明

- 目次表枠名 : 目次として作成された図面のファイル名称となります。
- ①タイトル枠高さ : タイトルとなる列(最上段)の枠の高さの指定です。
- ②タイトル文字高さ : タイトル文字の高さの指定です。
- ③タイトル縦横比 : タイトル文字の縦横比の指定です。
- ④項目数 : 目次に表示する項目数の指定です。
- ⑤行数 : 目次表枠の行数の指定です。
- ⑥枠高さ : 目次表枠の行の高さ指定です。

目次として作成された図面

①タイトル枠高さ

②タイトル文字高さ

③タイトル縦横比

⑥枠高さ

⑤行数

④項目数（上図例：4項目）

No.	目次	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1	目次	CONTENS001		
2				
3	トレーニング用	01	Sample01	
4	トレーニング用	P01	Sample02	
5	トレーニング用	P02	Sample03	
6	トレーニング用	P03	Sample04	
7	トレーニング用	P03	Sample04	

2-3. 目次作成実行

電キャビの目次作成方法について説明します。

前章で作成した目次テンプレートを使用してフォルダ内に新たな目次を作成します。

目次作成は電キャビ内で図面が登録されているフォルダが対象となります。

2-3-1. 目次作成時のご注意

電キャビの目次作成では、物件フォルダ内にある図面を検索して、目次図面を自動生成します。物件フォルダ内の目次図面と一般図面(回路図・盤図・部品図など)とでは、図枠が目次用であるかどうかで判断します。

「2-2. 目次テンプレートの作成」で使用した図枠は、「目次専用の図枠」として階層設定に登録しています。目次ページと同じ図枠を使用した一般図面が物件フォルダ内にある場合、その図面は目次と認識され、目次作成時の上書き対象となります。必ず「目次作成で使用する図枠」と「一般図面で使用する図枠」を分けて運用してください。

2-3-2. 目次作成の設定

1. 電キャビを起動します。

デスクトップの電キャビアイコンをダブルクリック、もしくは[スタート]-[アルファテックランチャー]-[Alfatech]-[電キャビ]-[電キャビ]を選択します。

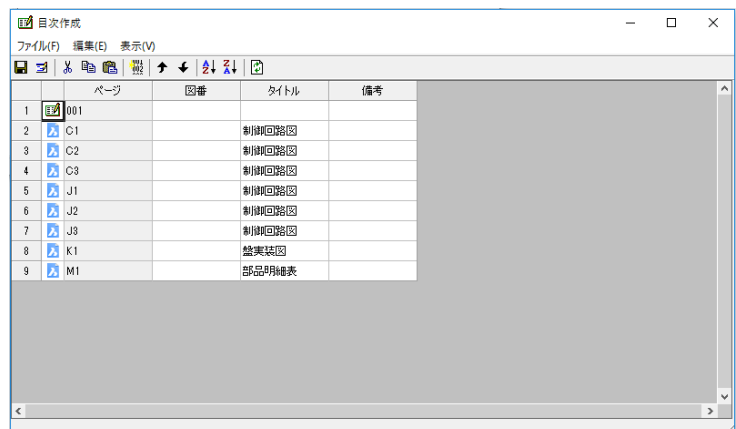
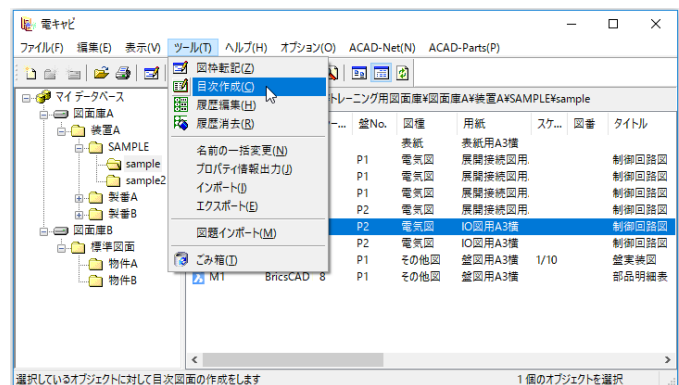
2. 目次を作成するフォルダを選択します。

※選択するフォルダは図面が保存されているフォルダです。

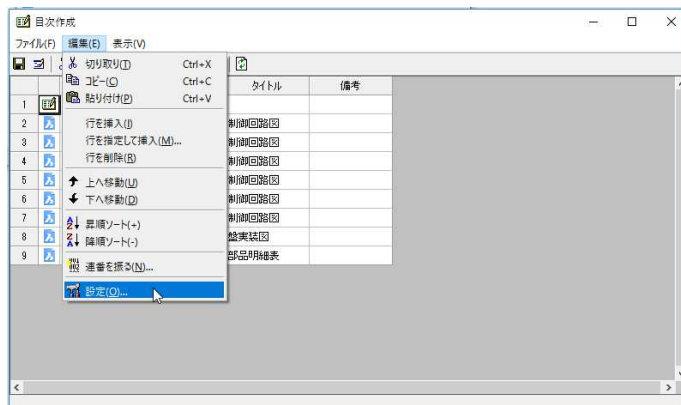
3. [ツール]-[目次作成]を選択します。

フォルダ内の図面データを抽出し、目次作成ダイアログが表示されます。

※マークのついている1行目が目次の行となります。



4. [編集]-[設定]を選択します。

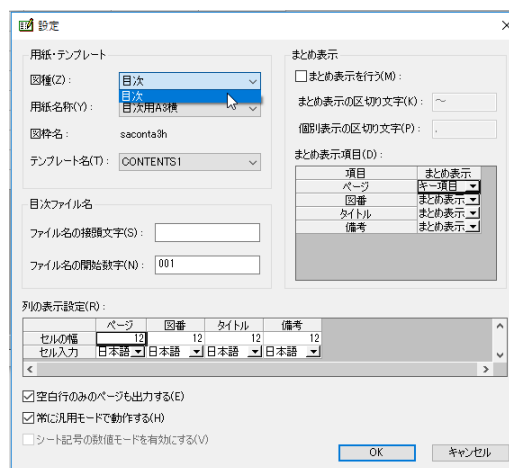


5. 設定ダイアログが表示されます。

図種/用紙名称を選択(確認)します。

図種：目次

※図種には、階層設定の「図種・用紙」タブで“目次”文字を含む図種のみが表示されます。



6. 用紙名称を専用の図枠に変更します。

選択：目次用サンプルA3横

7. テンプレート名とファイル名の開始文字を指定します。

テンプレート名：SAMPLE-CONTENTS

ファイル名の接頭文字：CONTENTS

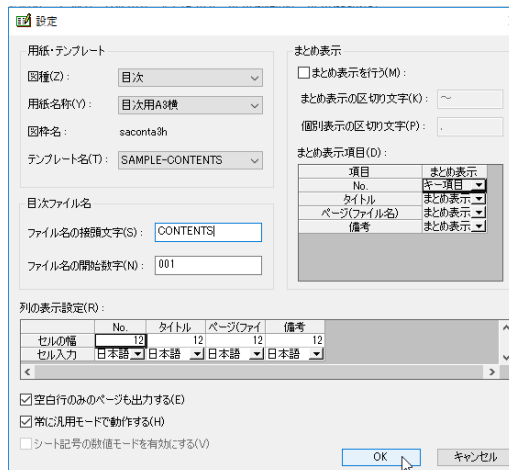
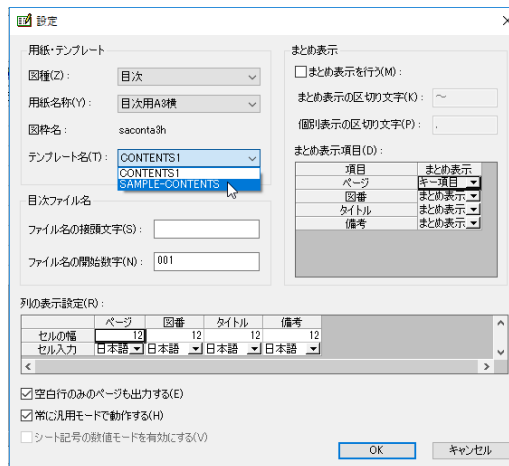
ファイル名の開始数字：001

目次図面が1ページ以上にわたる場合は連番になります。

ファイル名が、既存の図面と重なる場合は次の空き番号を自動検索してファイル名がつけられます。

8.  をクリックします。

設定ダイアログが終了します。

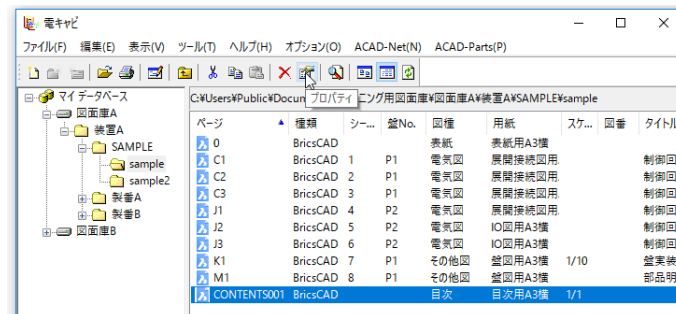


2-3-5. ファイルプロパティからの目次項目編集

前章で作成した目次のプロパティ設定を編集し、目次図面を更新する手順について説明します。

1. 目次図面“CONTENTS001”を選択します。

“プロパティ”アイコンをクリックします。



2. ファイルのプロパティダイアログが表示されます。

タイトル欄を編集します。

タイトル：目次（入力）

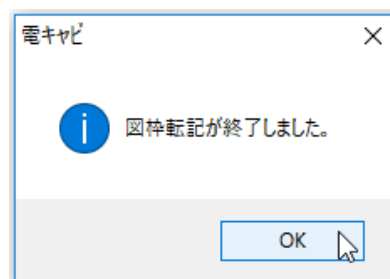
プロパティを登録後に図枠転記を実行する :チェック入力

 をクリックします。



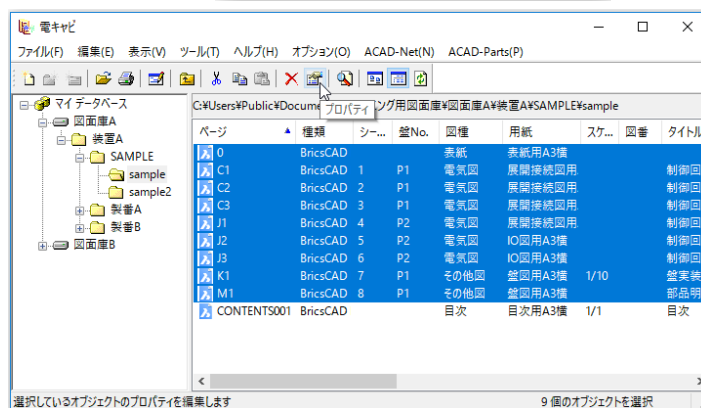
3. 確認のダイアログが表示されます。

 をクリックします。



4. 目次以外のページをすべて選択します。

プロパティアイコンをクリックします。



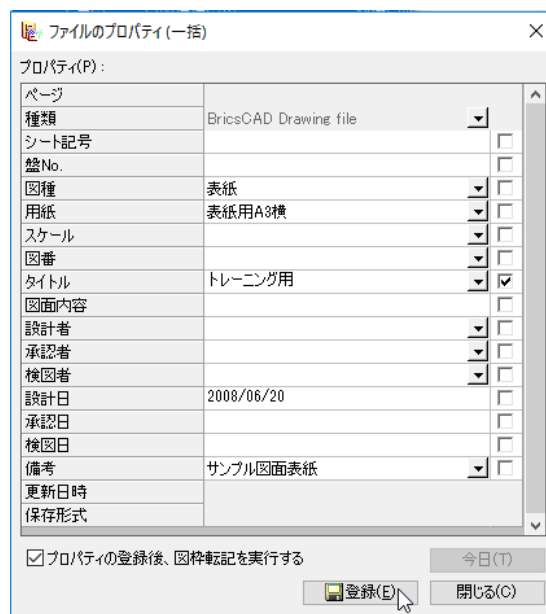
5. ファイルのプロパティ(一括)ダイアログが表示されます。

タイトル欄を編集します。

タイトル：トレーニング用（入力）

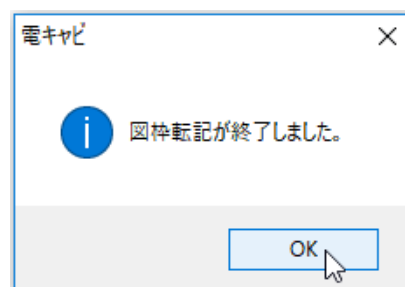
プロパティを登録後に図枠転記を実行する：チェック入力

 をクリックします。



6. 確認のダイアログが表示されます。

 をクリックします。



7. [ツール]-[目次作成]を選択します。

目次作成ダイアログが表示されます。

目次のタイトル項目に編集した内容が転記されているのが確認できます。



2-3-6. 目次作成画面からの項目編集

1. [編集]-[設定]を選択します。



2. 設定ダイアログが表示されます。

列の表示設定を変更します。

ページ(ファイル名) : 15 (入力)

タイトル	ページ(ファイル名)	備考
12	15	
語	日本語	日本語

OK

をクリックします。

3. ページ(ファイル名)項目の長さが15に固定されます。

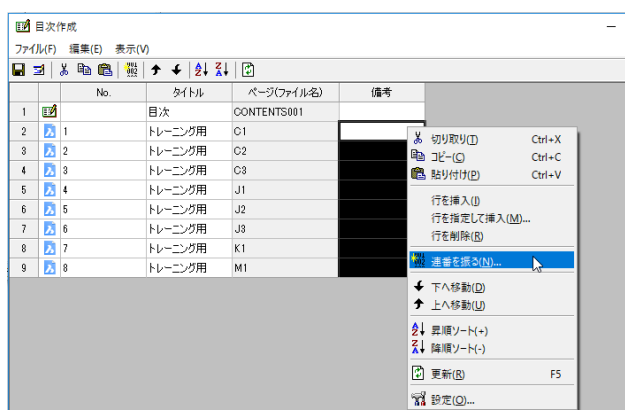
※「列の表示設定」は目次作成ダイアログの表示の設定です。

実際に作成される目次図面の項目の長さには影響しません。

	No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1		目次	CONTENTS001	
2	1	トレーニング用	C1	
3	2	トレーニング用	C2	
4	3	トレーニング用	C3	
5	4	トレーニング用	J1	
6	5	トレーニング用	J2	
7	6	トレーニング用	J3	
8	7	トレーニング用	K1	
9	8	トレーニング用	M1	

4. 2行目から9行目の備考欄を選択します。

マウスを右クリックし、[連番を振る]を選択します。



5. 連番を振るダイアログが表示されます。

接頭文字 : Sample (入力)

連番 : 01 (入力)

OK

をクリックします。

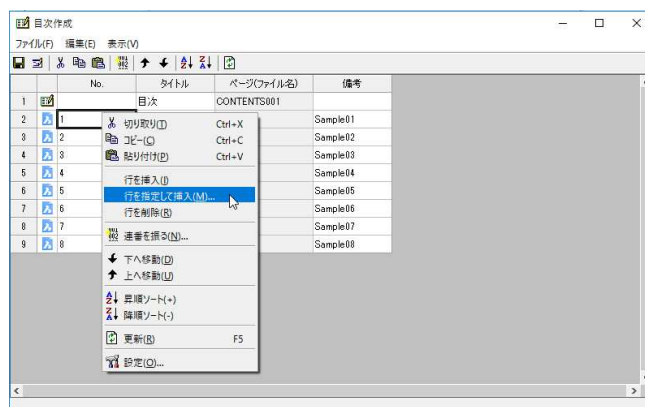
6. 備考欄が更新されたことが確認できます。

	No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1		目次	CONTENTS001	
2	1	トレーニング用	C1	Sample01
3	2	トレーニング用	C2	Sample02
4	3	トレーニング用	C3	Sample03
5	4	トレーニング用	J1	Sample04
6	5	トレーニング用	J2	Sample05
7	6	トレーニング用	J3	Sample06
8	7	トレーニング用	K1	Sample07
9	8	トレーニング用	M1	Sample08

2-3-7. 行の編集

1. 目次行の下に2行を追加します。2行目の項目にカーソルを移します。

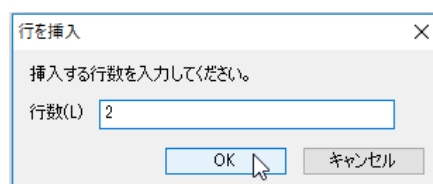
右クリックし、[行を指定して挿入]を選択します。



2. 行を挿入ダイアログが表示されます。
行数を指定します。

行数 : 2

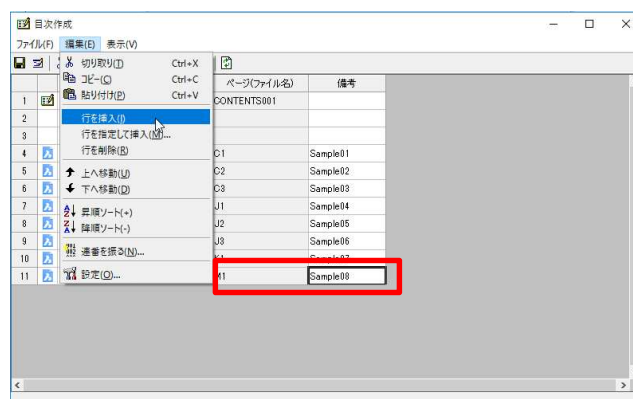
をクリックします。



選択した行の上に設定した行数が追加されます。

3. 行を1行挿入します。最下行を選択します。

メニューから[編集]-[行を挿入]を選択します。



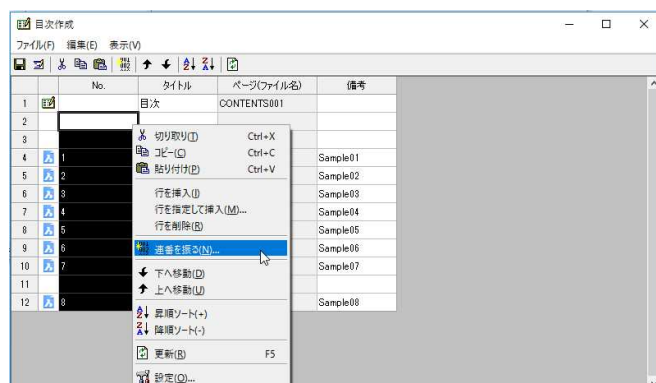
選択した行の上に1行空行が追加されます。

No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1	目次	CONTENTS001	
2			
3			
4	1	C1	Sample01
5	2	C2	Sample02
6	3	C3	Sample03
7	4	J1	Sample04
8	5	J2	Sample05
9	6	J3	Sample06
10	7	K1	Sample07
11			
12	8	M1	Sample08

4. No.項目に連番を入力します。

2行目から12行目のNo.項目を選択します。

右クリックし[連番を振る]をクリックします。

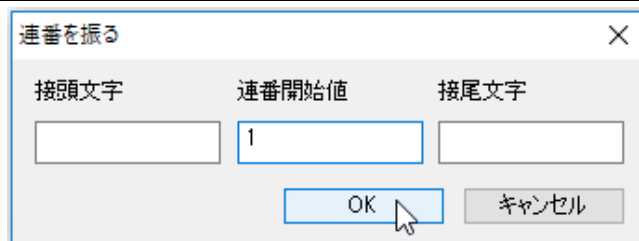


5. 連番を振るダイアログが表示されます。

連番開始値 : 1

 をクリックします。

追加した行も含めて連番が振られたのが確認できます。



連番を振る

接頭文字 連番開始値 接尾文字

 1

OK キャンセル

目次作成

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1	目次	CONTENTS001	
2			
3			
4	トレーニング用	C1	Sample01
5	トレーニング用	C2	Sample02
6	トレーニング用	C3	Sample03
7	トレーニング用	J1	Sample04
8	トレーニング用	J2	Sample05
9	トレーニング用	J3	Sample06
10	トレーニング用	K1	Sample07
11			
12	トレーニング用	M1	Sample08

6. 備考欄を編集します。

直接入力します。

2,3行目: 仕掛り中: **年**月**日完成予定

11行目: TEST図面

目次作成

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1	目次	CONTENTS001	
2	1		仕掛り中: **年**月**日完成予定
3	2		仕掛り中: **年**月**日完成予定
4	トレーニング用	C1	Sample01
5	トレーニング用	C2	Sample02
6	トレーニング用	C3	Sample03
7	トレーニング用	J1	Sample04
8	トレーニング用	J2	Sample05
9	トレーニング用	J3	Sample06
10	トレーニング用	K1	Sample07
11	10		TEST図面
12	11	M1	Sample08

7. [保存]アイコンをクリックします。

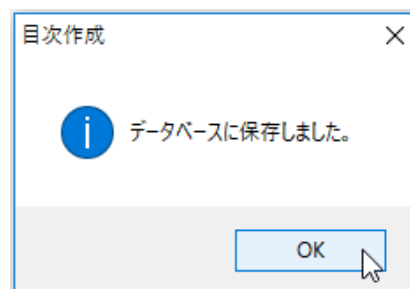
目次作成

ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
2	1		仕掛り中: **年**月**日完成予定
3	2		仕掛り中: **年**月**日完成予定
4	トレーニング用	C1	Sample01
5	トレーニング用	C2	Sample02
6	トレーニング用	C3	Sample03
7	トレーニング用	J1	Sample04
8	トレーニング用	J2	Sample05
9	トレーニング用	J3	Sample06
10	トレーニング用	K1	Sample07
11	10		TEST図面
12	11	M1	Sample08

8. 確認のダイアログが表示されます。

 をクリックします。

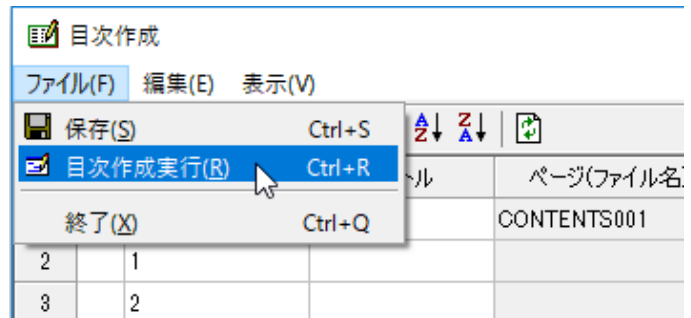


目次作成

データベースに保存しました。

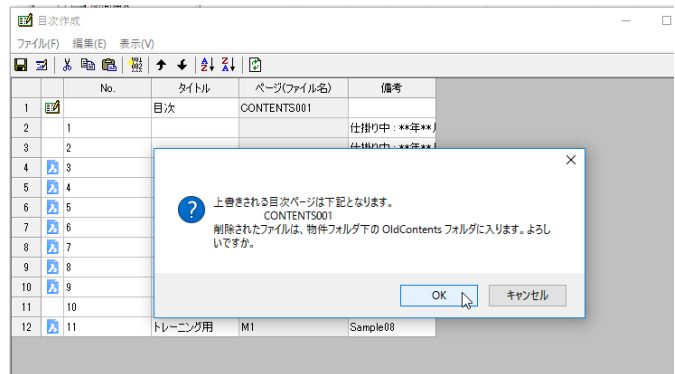
OK

9. [ファイル]-[目次作成実行]を選択します。

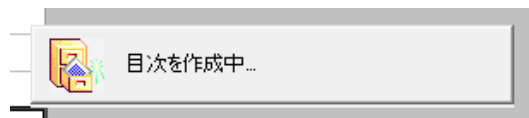


10. 目次作成2度目以降には確認のダイアログが表示されます。

確認後、をクリックします。



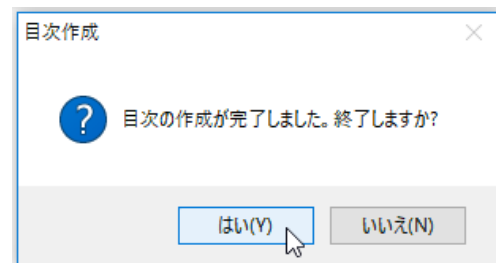
「目次を作成中...」メッセージが表示され、目次の作成が実行されます。



11. 確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。

これで、目次作成の終了です。



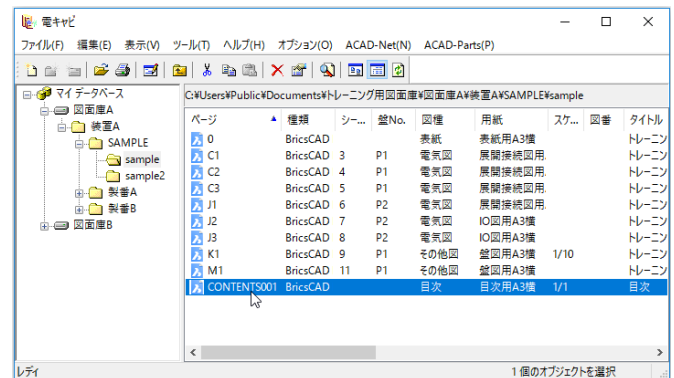
目次作成画面の編集について
 目次作成画面にて内容を編集した場合(本例では備考など)は、目次作成と同時に図枠転記が実行され、各図面のプロパティにも反映されます。
 プロパティ情報が編集されていない場合は、図枠転記の対象にはなりません。

2-3-8. 目次図面の確認

目次作成を実行して作成した図面を開き、確認します。

1. 目次作成ダイアログ終了後、電キャビダイアログに戻ります。

目次ページを選択しダブルクリックします。



2. ACAD-DENKIが起動し、目次図面が表示されます。

目次

No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1	目次	CONTENTS001	
2	トレーニング用	C1	Sample01
3	トレーニング用	C2	Sample02
4	トレーニング用	C3	Sample03
5	トレーニング用	J1	Sample04
6	トレーニング用	J2	Sample05
7	トレーニング用	J3	Sample06
8	トレーニング用	K1	Sample07
9	トレーニング用	M1	Sample08
10	トレーニング用		TEST図面
11	トレーニング用		

※「備考」欄は2段書きに設定してあるので、図のように自動的に折り返して枠内に表示されます。

No.	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
1	目次	CONTENTS001	
2	トレーニング用	C1	Sample01
3	トレーニング用	C2	Sample02
4	トレーニング用	C3	Sample03
5	トレーニング用	J1	Sample04
6	トレーニング用	J2	Sample05
7	トレーニング用	J3	Sample06
8	トレーニング用	K1	Sample07
9	トレーニング用	M1	Sample08
10	トレーニング用		TEST図面
11	トレーニング用		

※空行の追加について

目次作成には「数値モード」と「汎用モード」の二種類が存在します。

・数値モード

フォルダ内にある図面のページ(ファイル名)がすべて数字のみで構成されている場合のモード

例 : 001. dwg, 002. dwg, 003. dwg, 004. dwg, 005. dwg. . . など
2バイト文字, 英字が含まれない)

・汎用モード

フォルダ内にある図面のページ(ファイル名)が数字のみで構成されていない場合のモード

(本マニュアルのファイル構成はこちらにあたります。)

これらのモードは処理対象のフォルダを選択した時点で自動的に判別されます。

ユーザが任意に設定できるものではありません。

※空行を追加できるのは、ファイル名称に数値以外の文字列が使用されている場合の「汎用モード」のみです。

※ファイル名にあたる項目について

ファイル名(図面名称)項目の名称は、実際のファイル名を自動取得します。
任意に変更することはできません。

2-4. 目次図面のテンプレートの修正

作成した目次テンプレートを修正します。

2-4-1. 目次テンプレート修正

1. 目次テンプレート作成アイコンをクリックします。



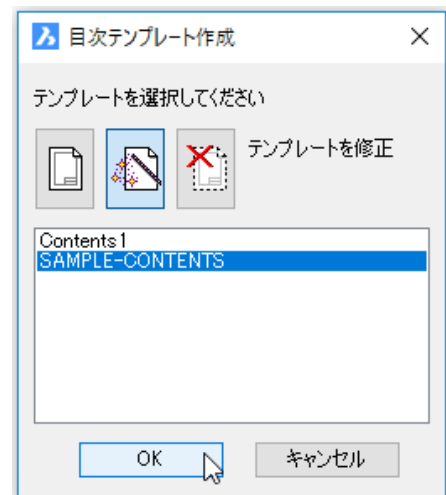
2. 目次テンプレート作成ダイアログが表示されます。

「テンプレートを修正」アイコンをクリックします。

既存のテンプレートが表示されます。

選択 : SAMPLE-CONTENTS

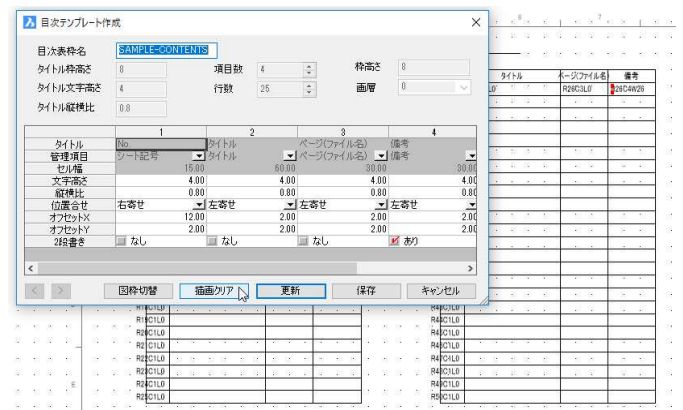
OK をクリックします。



3. 選択した目次テンプレートと目次テンプレート作成ダイアログが表示されます。

描画済みのオブジェクトと整合性を取るためにタイトル欄などはグレーアウトされ、そのままでは編集できません。

描画クリア をクリックします。



4. 描画がクリアされ、編集が行えます。

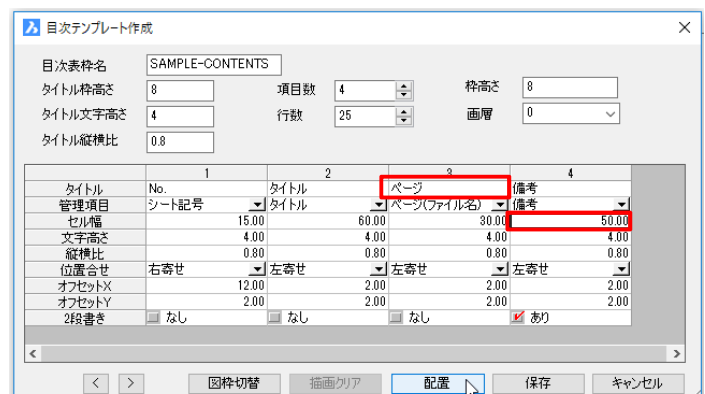
タイトルの変更

[ページ(ファイル名)] -> [ページ]

セル幅の変更

備考欄 [30] -> [50]

配置 をクリックします。



5. 右図を参考に、2箇所表を配置します。

配置後Enterを押します。

目次

No.	タイトル	ページ	備考
R1C1L0	R1C2L0	R1C3L0	R1C4L0
R2C1L0			
R3C1L0			
R4C1L0			
R5C1L0			
R6C1L0			
R7C1L0			
R8C1L0			
R9C1L0			
R10C1L0			
R11C1L0			
R12C1L0			
R13C1L0			
R14C1L0			
R15C1L0			
R16C1L0			
R17C1L0			
R18C1L0			
R19C1L0			
R20C1L0			
R21C1L0			
R22C1L0			
R23C1L0			
R24C1L0			
R25C1L0			

6. 目次テンプレート作成ダイアログが表示されます。

保存をクリックします。

目次テンプレート作成

目次表名: SAMPLE-CONTENTS

タイトル特高さ: 8 項目数: 4 特高さ: 8

タイトル文字高さ: 4 行数: 25 画層: 0

タイトル縦横比: 0.8

タイトル	No.	タイトル	ページ	備考
管理項目	シート記号	タイトル	ページ(ファイル名)	備考
セル幅	15.00	60.00	30.00	50.00
文字高さ	4.00	4.00	4.00	4.00
縦横比	0.80	0.80	0.80	0.80
位置合せ	右寄せ	左寄せ	左寄せ	左寄せ
オフセットX	12.00	2.00	2.00	2.00
オフセットY	2.00	2.00	2.00	2.00
2段書き	なし	なし	なし	あり

7. 更新確認のダイアログが表示されます。

はい(Y)をクリックします。

BricsCAD

SAMPLE-CONTENTSテンプレートは存在します。更新しますか？

8. 確認のダイアログが表示されます。

OKをクリックします。

これで、既存の目次テンプレート修正は終了です。

BricsCAD

テンプレートを保存しました。

OK

※目次テンプレートを修正しても、すでに作成済みの目次図面には反映されません。

目次の再作成が必要です。

ACAD-DENKIを終了します。

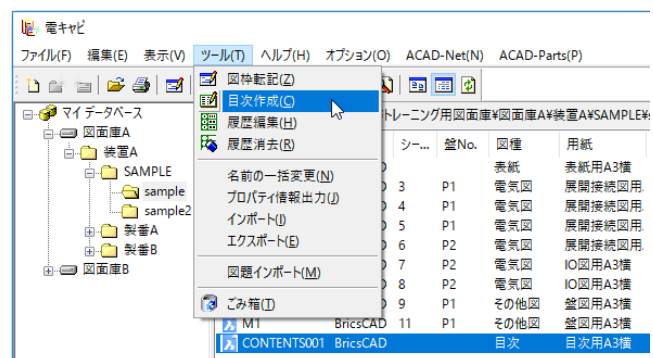
目次

No.	タイトル	ページ	備考
1	目次		CONTENTS001
2			
3	トレーニング用	C1	Sample01
4	トレーニング用	C2	Sample02
5	トレーニング用	C3	Sample03
6	トレーニング用	J1	Sample04
7	トレーニング用	J2	Sample05
8	トレーニング用	J3	Sample06
9	トレーニング用	K1	Sample07
10			TEST図面
11	トレーニング用	M1	Sample08

2-4-2. 目次の再作成

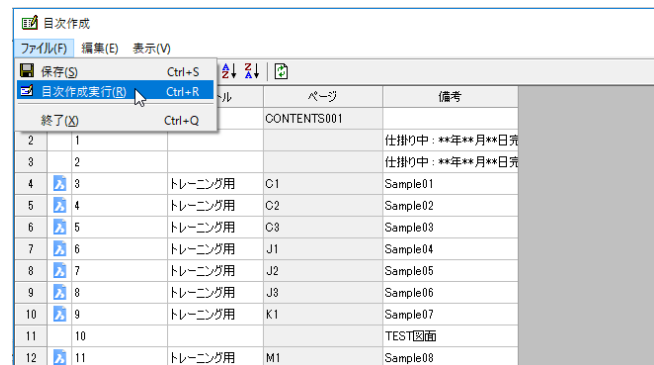
1. 電キャビ画面に戻ります。

[ツール]-[目次作成]を選択します。



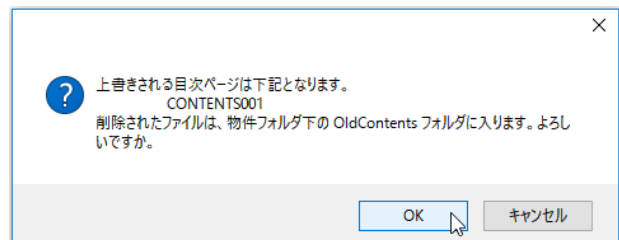
2. 目次作成ダイアログが表示されます。

[ファイル]-[目次作成実行]を選択します。

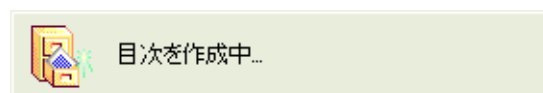


3. 確認のダイアログが表示されます。

確認後、をクリックします。



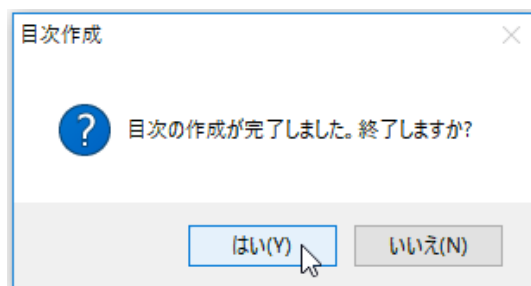
右図のような画面が表示され、目次作成が実行されます。



4. 確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。

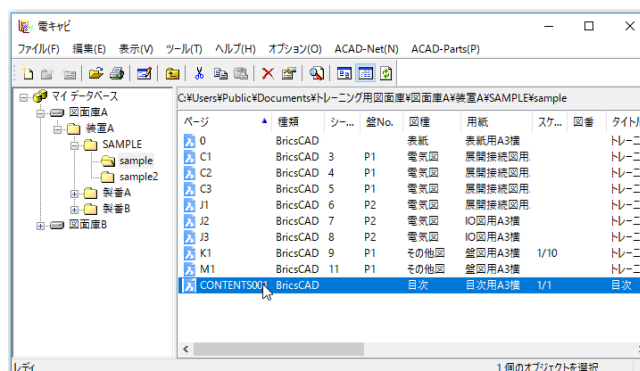
これで、目次作成の終了です。



更新目次図面の確認

1. 目次作成ダイアログ終了後、電キャビダイアログに戻ります。

目次ページを選択しダブルクリックします。



2. ACAD-DENKIが起動し、目次図面が表示されます。

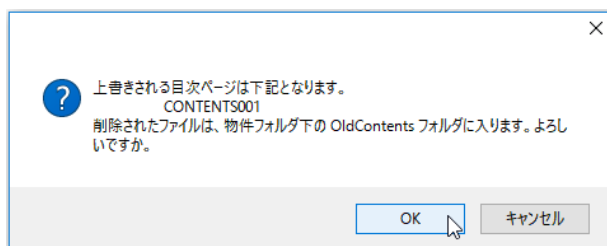
目次の表枠が更新されていることが確認できます。

[illegible]

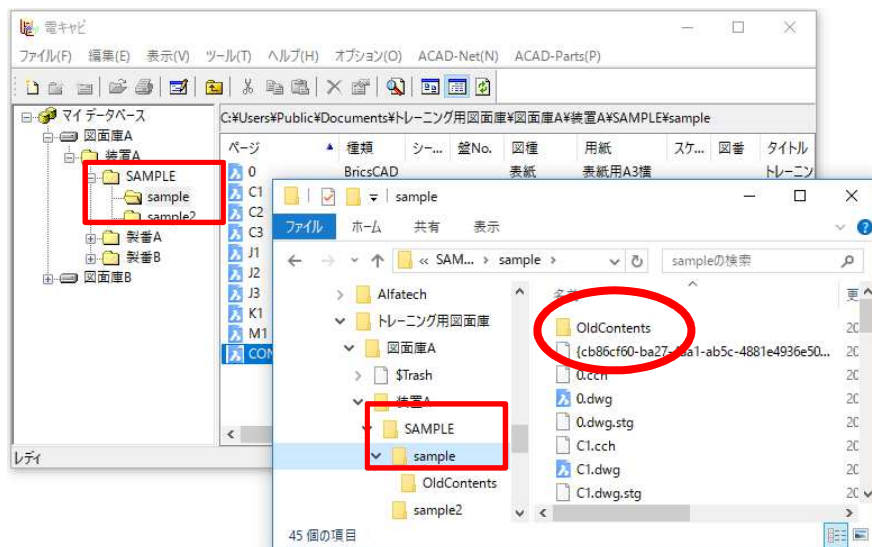
OldContentsフォルダについて

すでに目次図面が作成済みの場合、再作成すると右図のような確認のダイアログが表示されます。

[OK]をクリックすると、物件フォルダ以下に「OldContents」フォルダが自動作成され、削除対象図面が退避されます。



下図は、電キャビとエクスプローラを並べて表示した例です。



エクスプローラで物件フォルダに作成された「OldContents」フォルダ

電キャビからは確認できませんが、エクスプローラで退避した図面を確認することができます。

間違って、目次ファイルを作成してしまった場合、退避フォルダから戻すことができます。

ご注意!

「OldContents」フォルダは目次作成の度に、前回の「OldContents」フォルダを削除し、新たに再作成します。その為、目次ファイルがバックアップされるのは1回のみです。

<<このページは白紙です。>>

3 章.履歴管理

電キャビの履歴管理について説明します。

3-1. 履歴管理編集について

ACAD-DENKIの登録図枠に、履歴管理専用のブロックを作成します。

この履歴管理専用ブロックに変更履歴を保存します。

履歴管理は、ページ(図面)単位またはプロジェクト(フォルダ)単位で行います。

3-1-1. 履歴管理編集を行う前の準備

■履歴設定

履歴管理を行う項目 ・ インデックスの表記などの設定を行います。

[タイトル設定] : 管理する履歴の項目にタイトルを設定します。
予め、「履歴を残す項目:タイトル」を考慮しておく必要があります。

[インデックス表記] : 履歴インデックスの表記を設定します。

[日付書式設定] : 日付書式を設定します。

[物件の表示設定] : 物件(プロジェクト)単位の履歴を設定します。
予め、「物件単位で管理する履歴」を考慮しておく必要があります。

[ページの表示設定] : ページ(図面)単位の履歴を設定します。
予め、「ページ単位で管理する履歴」を考慮しておく必要があります。

■履歴欄作成

図枠に、履歴を表記するための履歴欄を作成します。

3-1-2. 履歴設定

ここでは、履歴管理編集を行う前の履歴設定について説明します。

階層設定の表示は、「電キャビトレーニングマニュアル入門編」で作成済みの表示名を例としています。

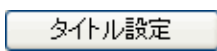
1. ACAD-DENKIを起動します。

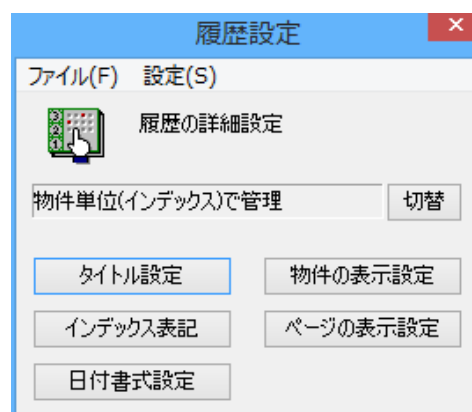
電キャビのツールバーを表示します。

[履歴設定]アイコンをクリックします



2. 履歴設定ダイアログが表示されます。

をクリックします。




3. 履歴-タイトル設定ダイアログが表示されます。

右図はデフォルトです。

本例では変更しません。確認のみしてください。

履歴のタイトルとして使用する項目

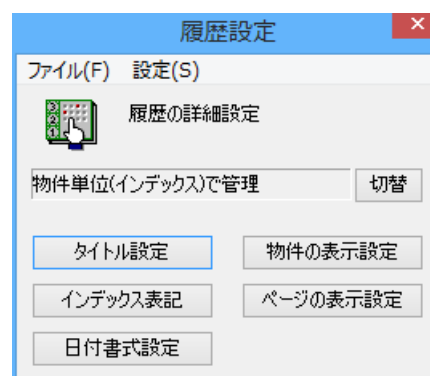
記事1：共通記事
 記事2：ページ別記事
 日付1：変更日付
 氏名1：変更担当者

をクリックします。



4. 履歴設定ダイアログに戻ります。

をクリックします。



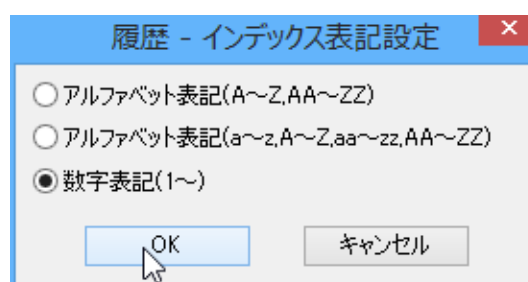
5. 履歴-インデックス表記設定ダイアログが表示されます。

右図はデフォルトです。

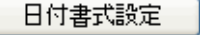
本例では変更しません。確認のみしてください。

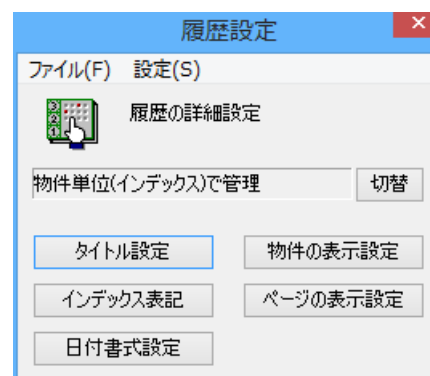
インデックスとして使用する表記
 : 数字表記(1～)

をクリックします。



6. 履歴設定ダイアログに戻ります。

をクリックします。



7. 履歴-日付書式設定ダイアログが表示されます。

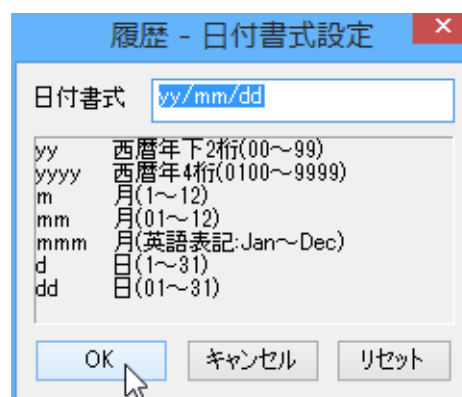
右図はデフォルトです。

本例では変更しません。確認のみしてください。

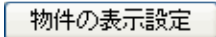
履歴の日付書式

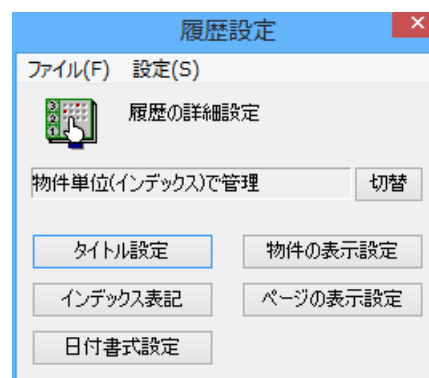
yy/mm/dd(表記例 : 05/11/01)

をクリックします。



8. 履歴設定ダイアログに戻ります。

をクリックします。



9. 履歴-物件の表示設定ダイアログが表示されます。

本例では変更しません。
確認のみしてください。

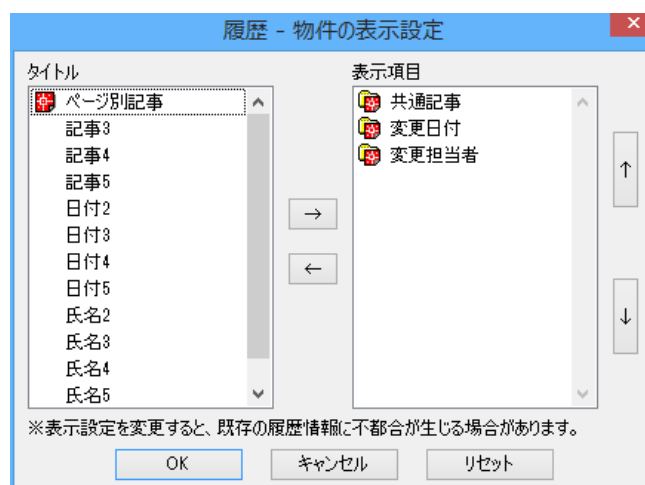
物件単位で編集する項目

共通記事

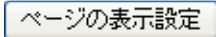
変更日付

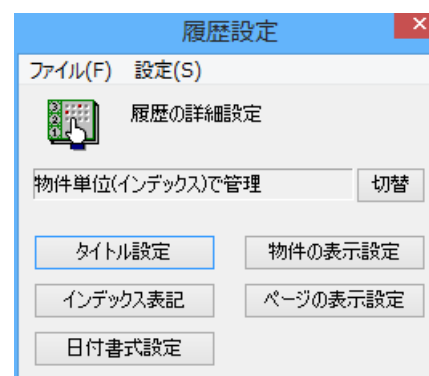
変更担当者

をクリックします。



10. 履歴設定ダイアログに戻ります。

をクリックします。



11. 履歴-ページの表示設定ダイアログが表示されます。

本例では変更しません。

確認のみしてください。

ページ単位で編集する項目

共通記事

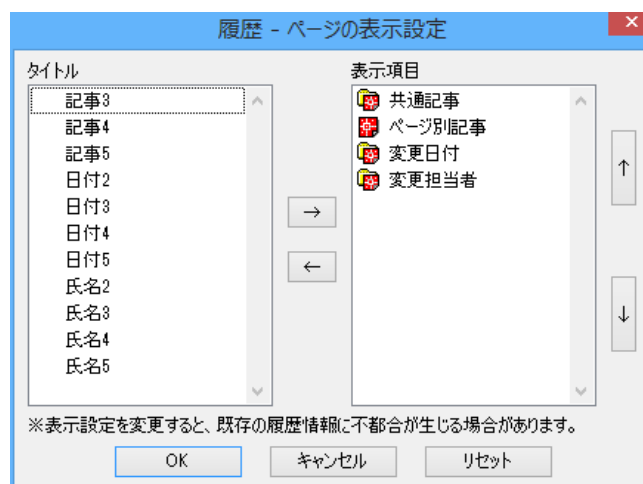
ページ別記事

変更日付

変更担当者

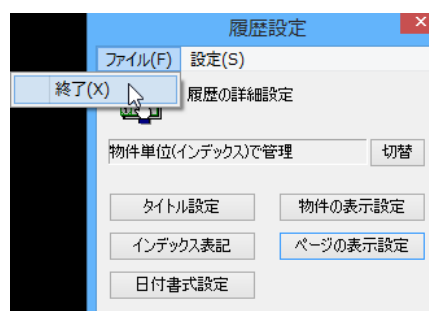
OK

をクリックします。



12. 履歴設定ダイアログに戻ります。

[ファイル]-[終了]を選択します。



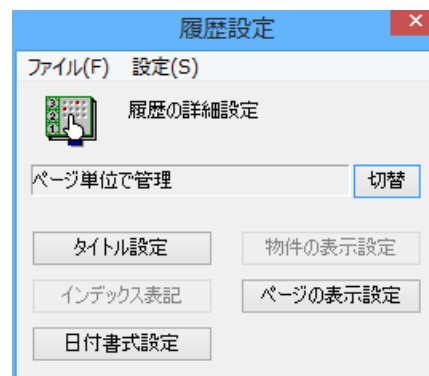
(履歴設定 : ページ単位)

切替

をクリックして、履歴設定を

「ページ単位で管理」に切替えた例です。

ページ単位管理では設定項目が右図のようになります。



3-1-3. 履歴欄作成

変更履歴を登録するためのブロックを作成する手順について説明します。
 本章では、提供図枠ではない、Sample1図枠に対して履歴欄の作成を行います。
 Sample1が無い場合は「電キャビトレーニングマニュアル(入門編)」もしくは「ACAD-DENKIトレーニングマニュアル(入門編)」をご参照の上、作成しておいて下さい。
 作成した図枠は、[階層設定]で、使用する表示名の設定に登録してください。
 ※登録方法につきましては、「電キャビトレーニングマニュアル(入門編)」をご参照ください。

1. ACAD-DENKIを起動します。



2. 電キャビツールバーの履歴欄作成アイコンをクリックします。

ツールバーが表示されていない場合は
 「1-2-3. 電キャビツールバーの表示」をご参照ください。



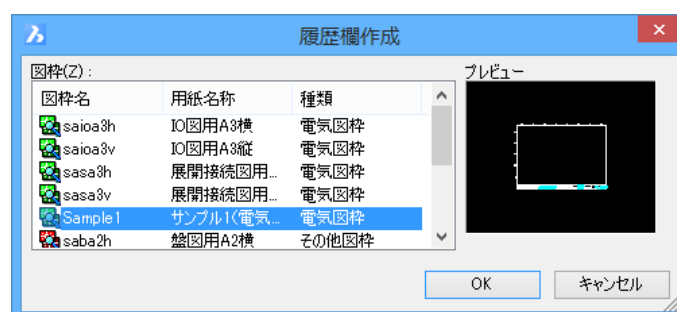
3. 履歴欄作成ダイアログが表示されます。

履歴タイトルを設定する図枠を選択します。

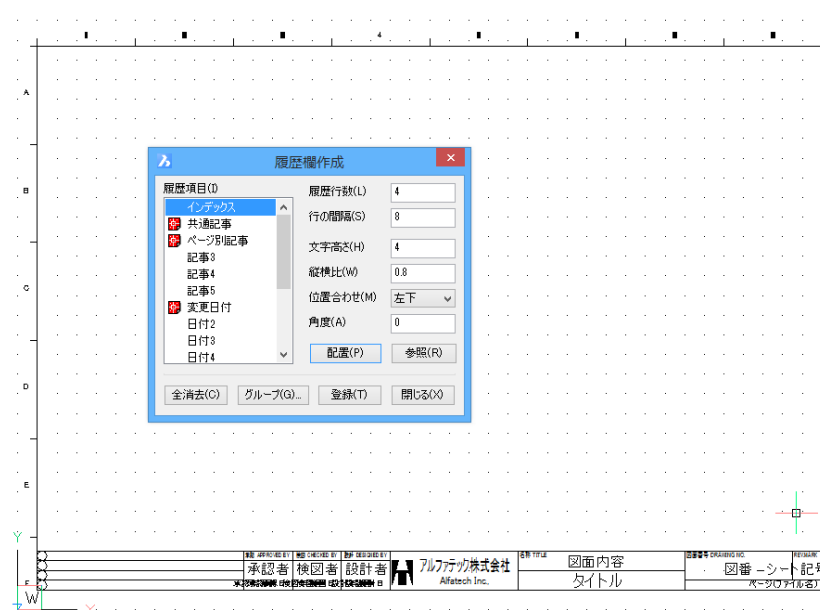
右図例：Sample1

※Sample1は提供図枠ではありません。

をクリックします。



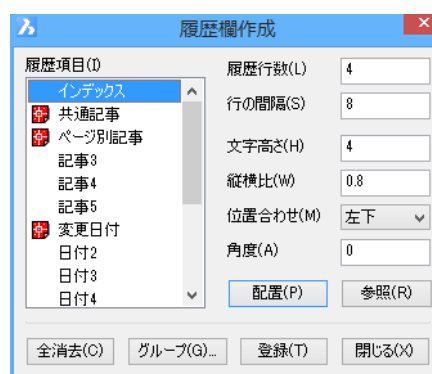
選択した図枠が開き、履歴欄作成ダイアログが表示されます。



※履歴欄作成ダイアログについて

履歴欄作成の項目には「履歴設定」で設定されたタイトルが表示されます。

タイトル左側にアイコンが表示されている項目は、物件の表示設定(フォルダアイコン)/ページの表示設定(図面アイコン)で設定されているものです。

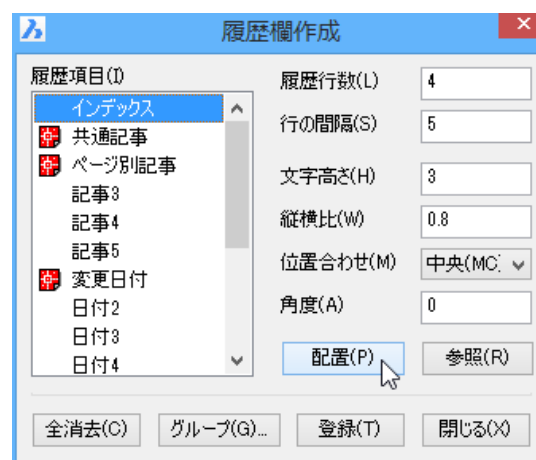


4. 履歴項目を選択して図面内に配置します。

選択：インデックス

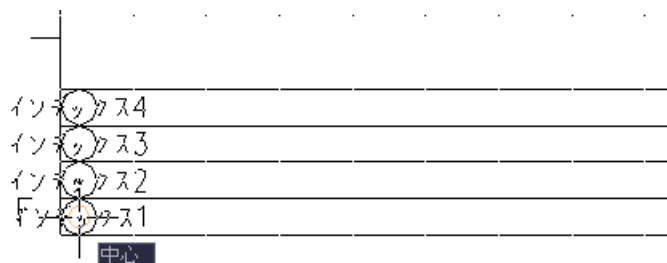
プロパティ：履歴行数：4
 行の間隔：5
 文字高さ：3
 縦横比：0.8
 位置合わせ：中央(MC)
 角度：0

配置(P)をクリックします。



5. 履歴欄作成ダイアログが非表示になり、インデックスがカーソルについて仮表示されます。

インデックスを表記させる配置場所をクリックします。



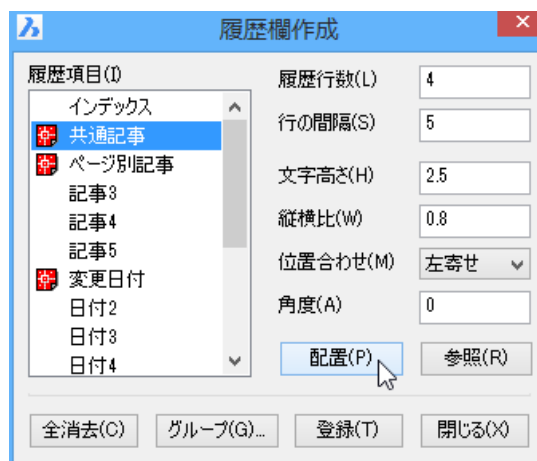
6. 履歴欄作成ダイアログが表示されます。

共通記事を図面内に配置します。

選択：共通記事

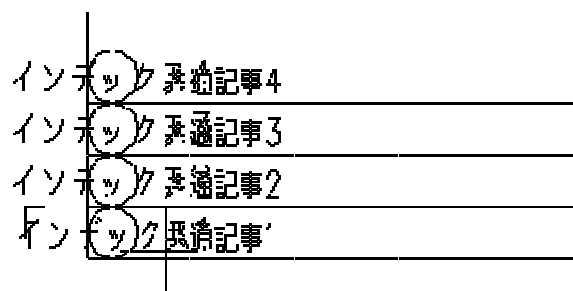
プロパティ：履歴行数：4
 行の間隔：5
 文字高さ：2.5
 縦横比：0.8
 位置合わせ：左寄せ
 角度：0

配置(P)をクリックします。



7. 履歴欄作成ダイアログが非表示になり、インデックスがカーソルについて仮表示されます。

履歴情報を表記させる配置場所をクリックします。



8. 同様の手順で「ページ別記事/変更日付/変更担当者」を順番に配置します。

ページ別記事/変更日付/変更担当者
プロパティ：共通記事と同じ

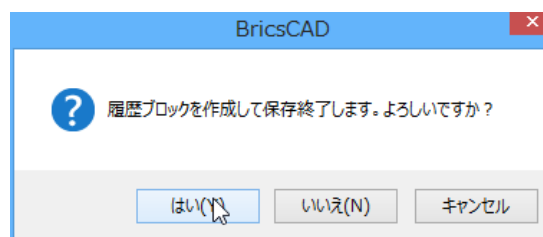
インデックス	共通記事4	ページ別記事4	変更日付4	変更担当者4
インデックス	共通記事3	ページ別記事3	変更日付3	変更担当者3
インデックス	共通記事2	ページ別記事2	変更日付2	変更担当者2
インデックス	共通記事1	ページ別記事1	変更日付1	変更担当者1

9. 履歴欄設定ダイアログの

をクリックします。

10. 確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。



3-2. 履歴管理編集

変更した内容を履歴欄に登録する手順を説明します。

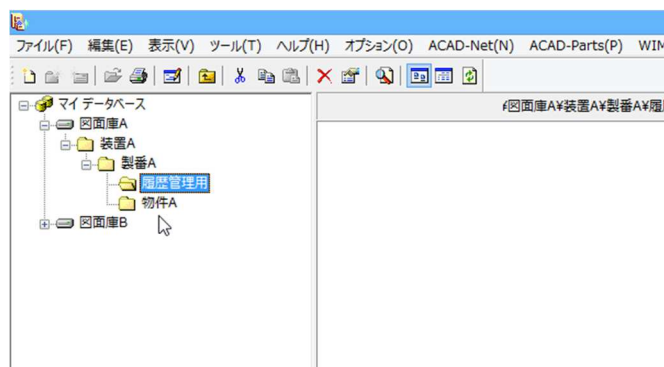
3-2-1. 履歴管理編集(物件単位 - ページ編集)

1. 電キャビを起動します。

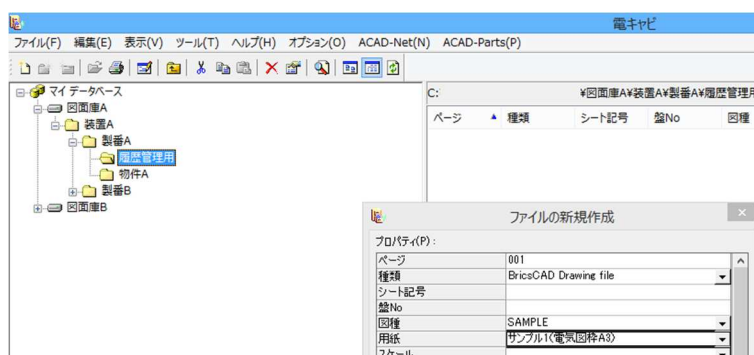
電キャビの最下位層に新規物件のためのフォルダを作成します。

右図例では、「製番A」フォルダの下に「履歴管理用」フォルダを作成しています。

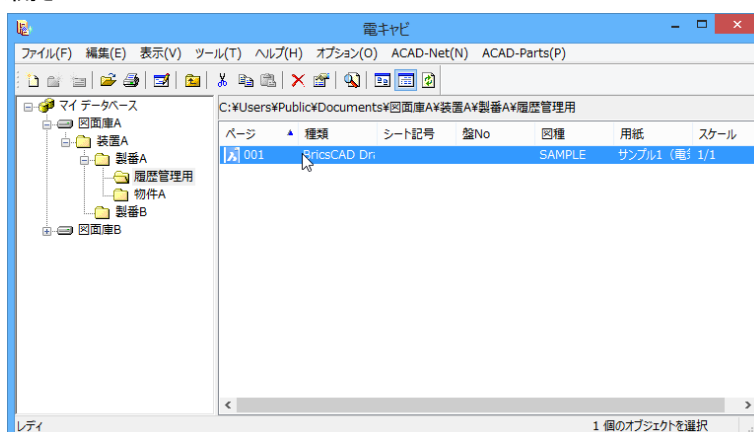
フォルダ名：履歴管理用



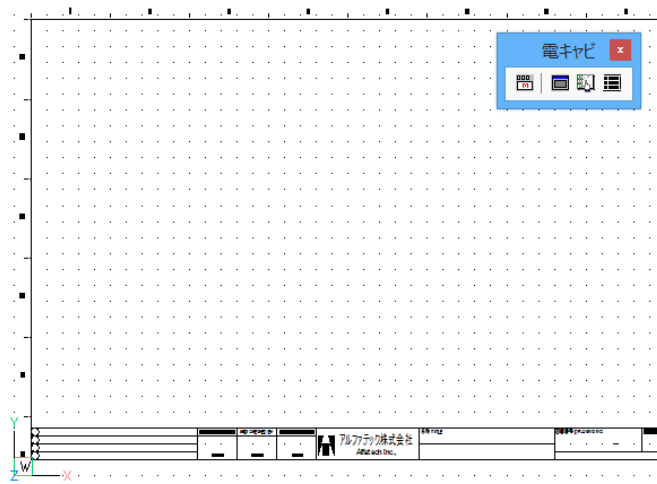
2. 作成した「履歴管理用」フォルダにSample1図枠を使用した新ページを作成します。



3. 作成したページを指定してACAD-DENKIで開きます。



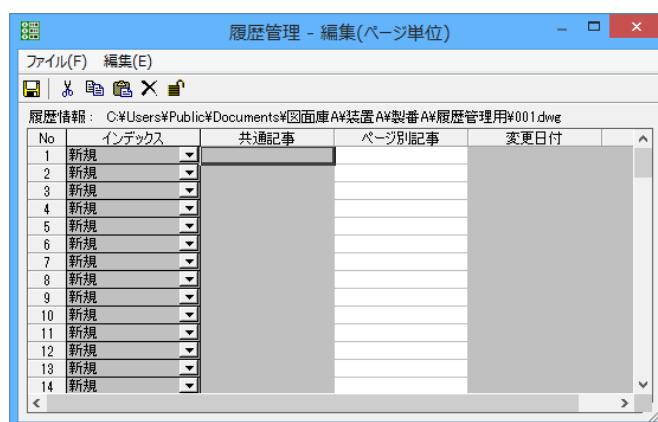
4. 電キャビツールバーの「履歴管理編集」アイコンをクリックします。



5. 履歴管理-編集(ページ単位)ダイアログが表示されます。

ページ単位の記述になりますので、ここで編集できる項目は「ページ別記事」のみです。

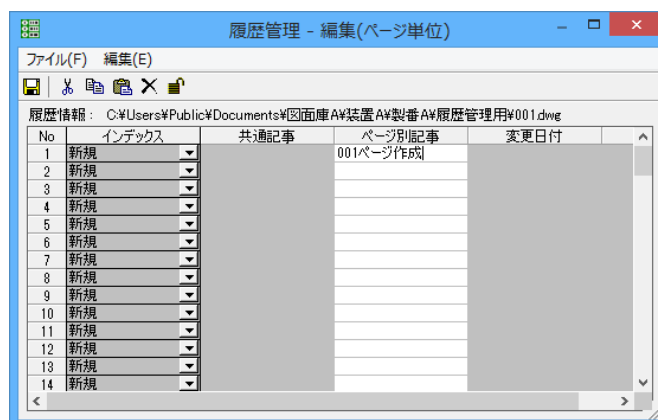
グレーアウトされた項目は「物件単位」専用の編集項目になります。



6. 「ページ別記事」項目に、本ページの記事を入力します。

ページ別記事：001ページ作成

[ファイル]-[保存]を選択します。

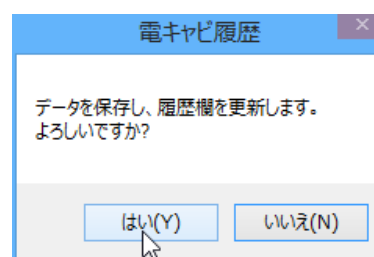


7. 確認のメッセージが表示されます。

ページ別記事：001ページ作成

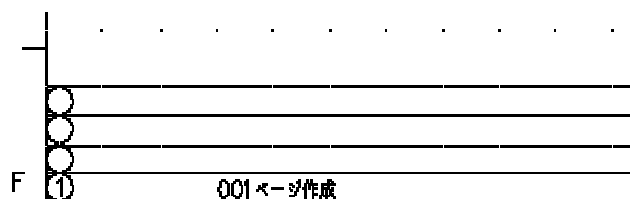
をクリックします。

入力した項目がロックされ、履歴管理-編集(ページ単位)ダイアログが終了します。



図枠の履歴欄(「3-1-3. 履歴欄作成」で作成)に入力した記事が転記されていることが確認できます。

8. 確認後、ACAD-DENKIを終了します。



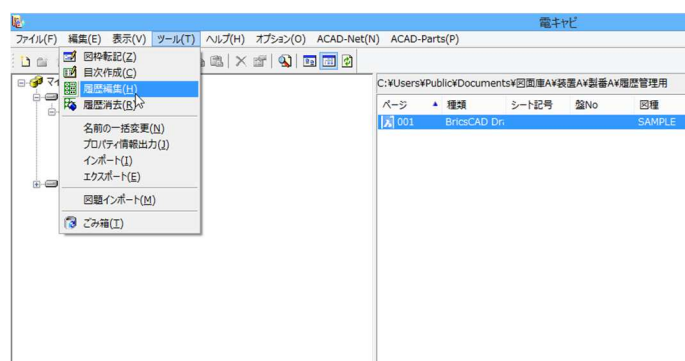
3-2-2. 履歴編集(物件単位-物件編集)

1. 電キャビに戻ります。

起動していない場合は、電キャビを起動し、履歴管理用フォルダを表示させてください。

履歴管理編集を行うフォルダを選択します。

右図例：履歴管理用

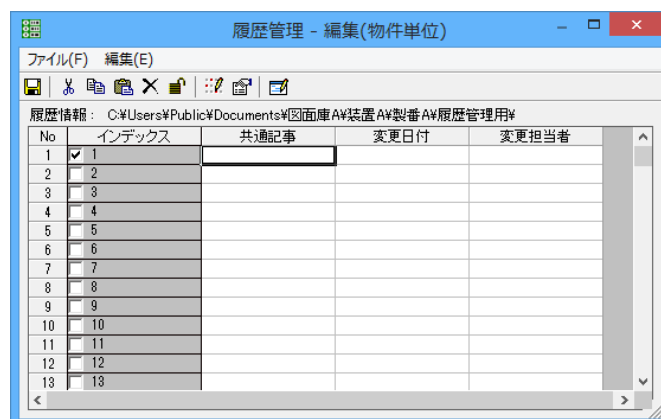


2. [ツール]-[履歴編集]を選択します。

3. 履歴管理-編集(物件単位)ダイアログが表示されます。

※「インデックス1」には「ページ別

記事」がありますが、ここでは物件単位の情報のみを確認・編集することが出来ます。

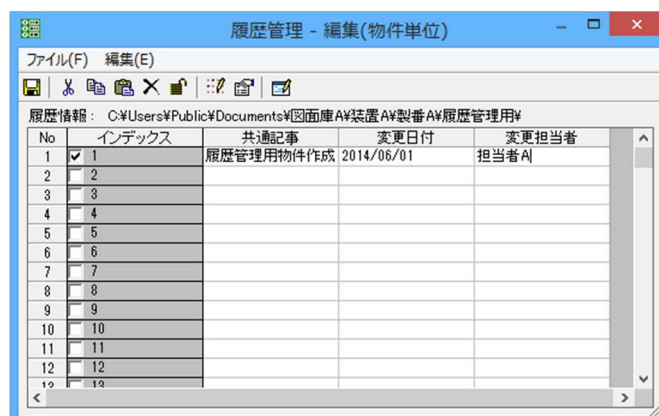


4. インデックス1欄を編集します。

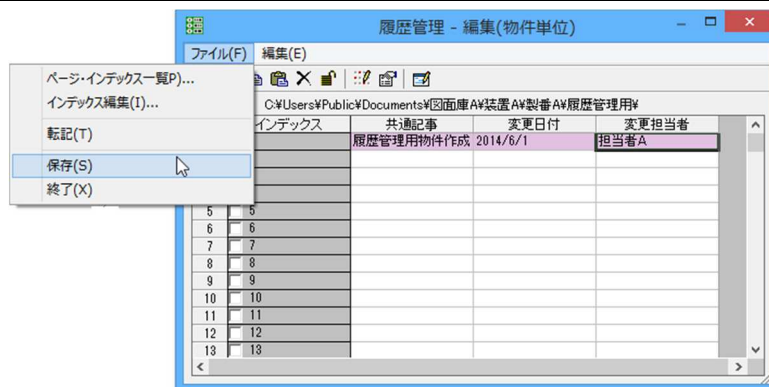
共通記事：履歴管理用物件作成

変更日付：項目欄をクリックして本日の日付を入力

変更担当者：担当者A



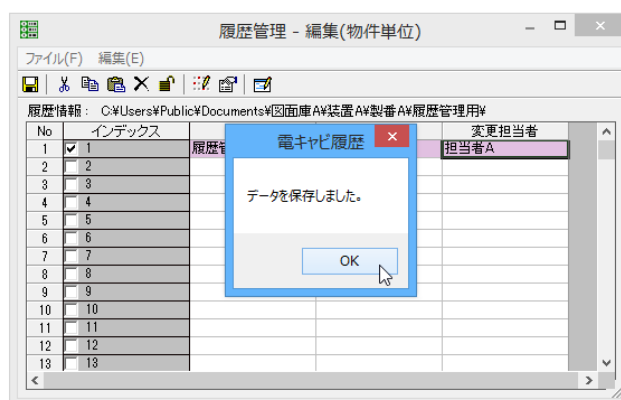
5. [ファイル]-[保存]を選択します。



6. 編集した項目がロックされ、履歴情報が登録されます。

確認のダイアログが表示されます。

をクリックします。



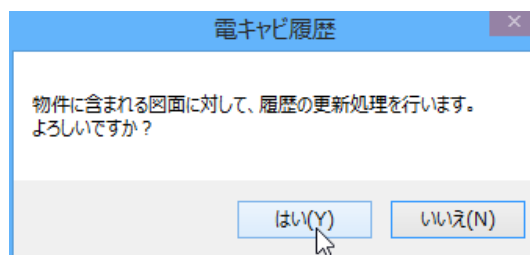
7. 履歴情報を編集しましたが、このままではまだ、図面には反映されていません。

[ファイル]-[転記]を選択します。



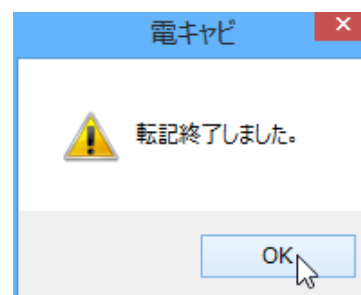
8. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。



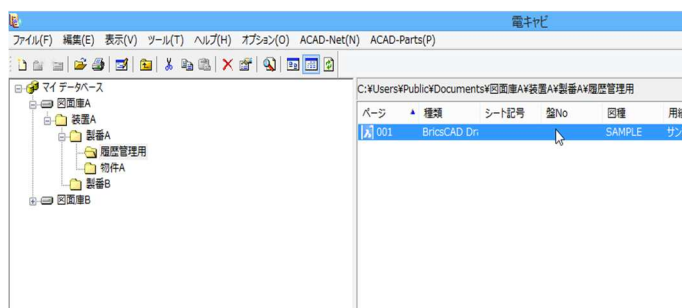
9. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。

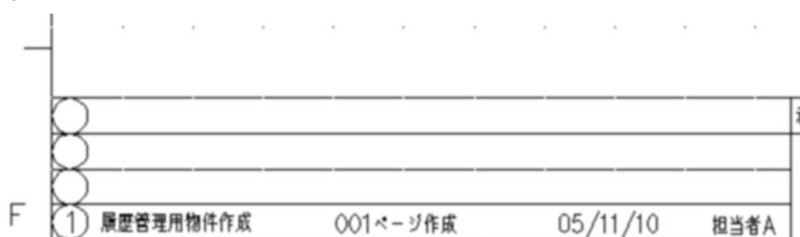


10. 履歴設定-編集(物件単位)が終了し、電キャビに戻ります。

インデックス1を付加しているページを選択し、開きます。



11. 物件単位の情報 that 図面の履歴欄に転記されていることが確認できます。



12. 確認後、ACAD-DENKIを終了します。

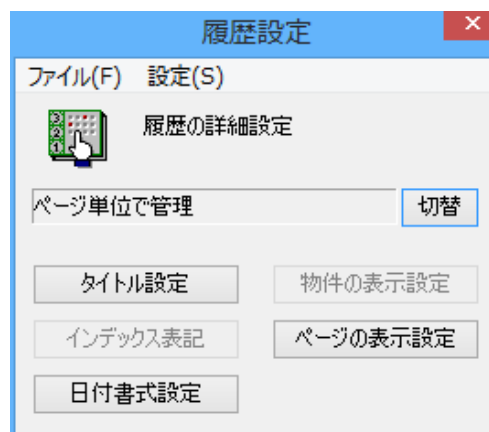
3-2-3. 履歴編集(ページ単位-ページ編集)

(履歴設定：ページ単位)

「3-1-2. 履歴設定」の手順で履歴設定を表示させます。

[履歴設定]が右図のように

「ページ単位で管理」と設定されている場合の例です。



※ここでは確認のみ行ってください。

1. ACAD-DENKIを起動します。履歴編集を行うページを開きます。

2. 電キャビツールバーから[履歴管理編集]をクリックします。

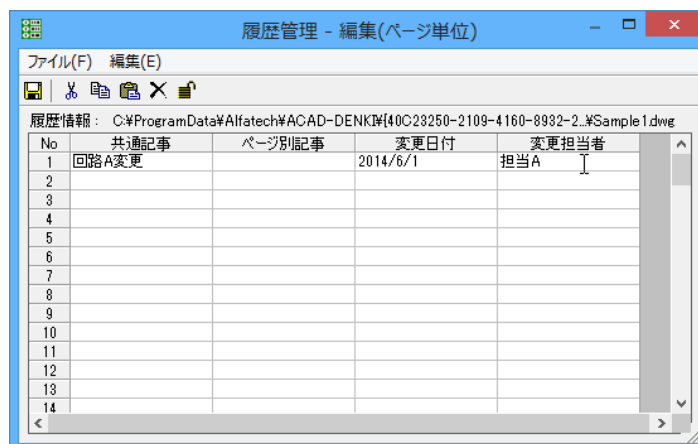
履歴管理-編集(ページ単位)ダイアログが表示されます。

※ページ単位の設定ですので、インデックスはありません。



3. 履歴を編集します。

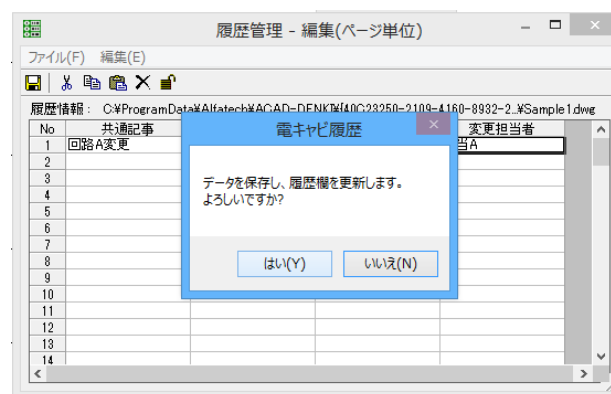
[ファイル]-[保存]を選択します。



4. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。

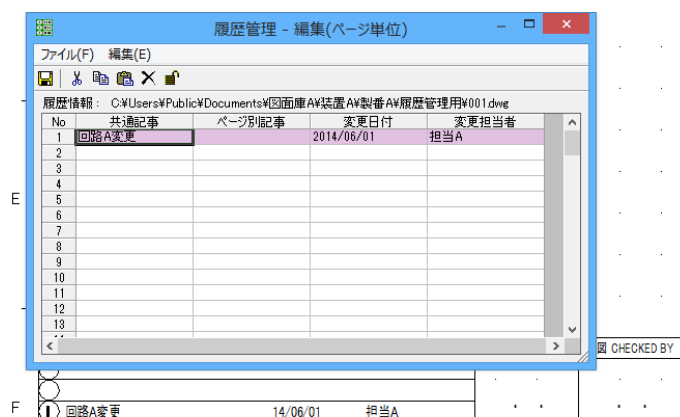
履歴設定が保存され、履歴管理ダイアログが終了します。



5. 再度履歴管理編集を表示させた例です。

図枠の履歴欄が更新され、項目がロックされます。

確認後、履歴管理ダイアログを終了し、ACAD-DENKIも[×](閉じる)で終了します。



3-3. 履歴情報の変更と追加

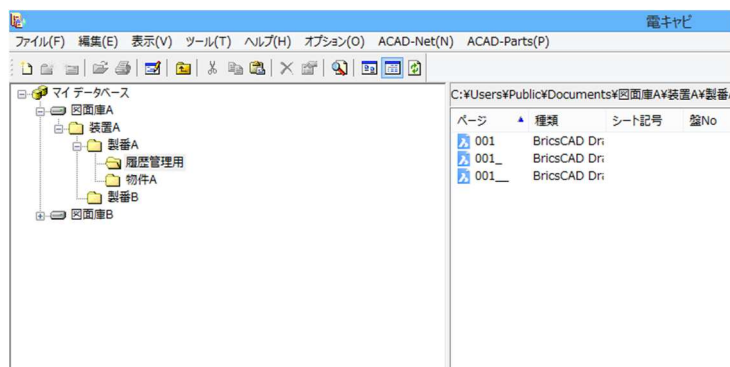
履歴管理-編集物件単位/ページ単位で編集・登録した内容を更に変更・追加する方法について説明します。

(履歴設定：物件単位)

1. 電キャビに戻ります。

作成した001ページを複製します。

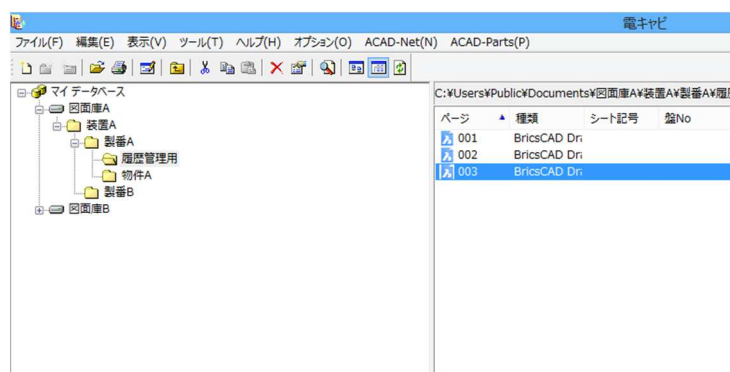
履歴管理用フォルダに2つコピーした例です。



2. コピーしたファイルの名称を変更します。

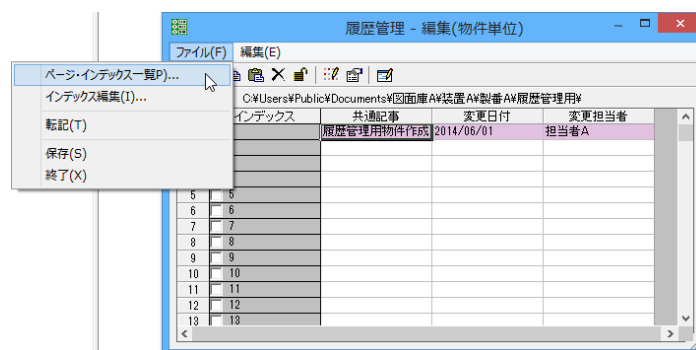
右図例では連番に変更しています。

3. [ツール]-[履歴編集]を選択します。



4. 履歴管理-編集(物件単位)ダイアログが表示されます

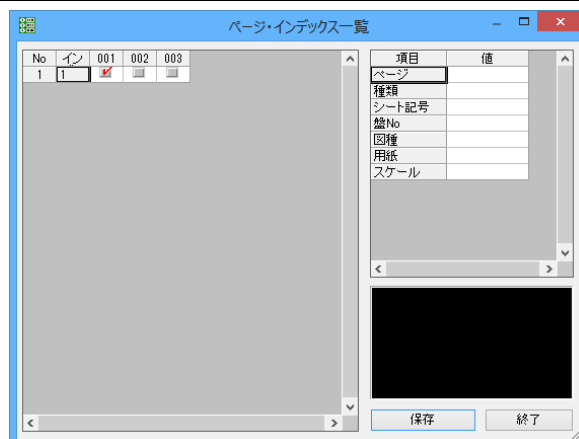
[ファイル]-[ページ・インデックス一覧]を選択します。



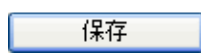
5. ページ・インデックス一覧ダイアログが表示されます。

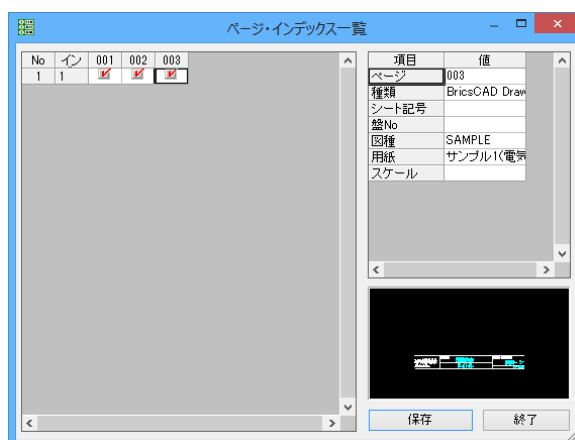
ファイルをコピーしただけでは、履歴情報の内容(*.hstファイル)まではコピーされません。

002、003ページにも履歴変更のインデックス1を登録しますので、各欄のインデックス1を2回クリックしてチェックを入力します。



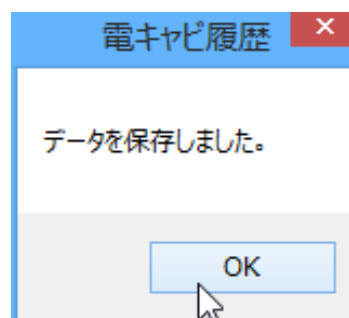
6. 2回クリックすると、チェックが入力されます。

をクリックします。



7. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。

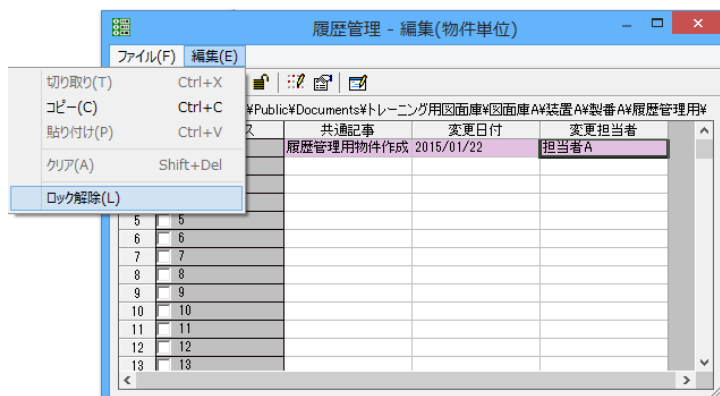


8. インデックス1の内容を修正しますが、一度登録するとロックがかかっているため、ロックを外す必要があります。

修正する項目欄を選択します。

本例では[変更担当者]欄を選択しています。

[編集]-[ロック解除]を選択します。

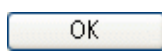


9. ロックが解除されますので、内容を修正します。

担当者A →お名前を入力して下さい。

10. [ファイル]-[保存]を選択します。

11. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。

12. [ファイル]-[転記]を選択します。

13. 確認のメッセージが表示されます。

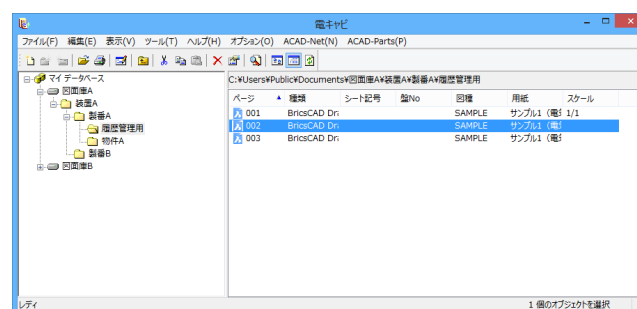
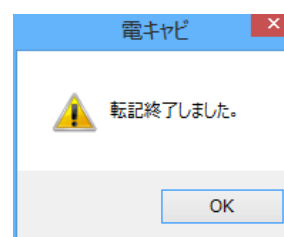
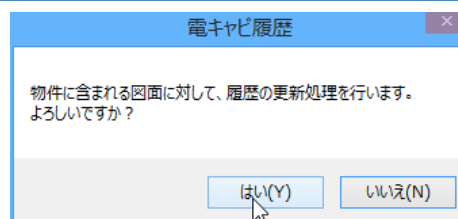
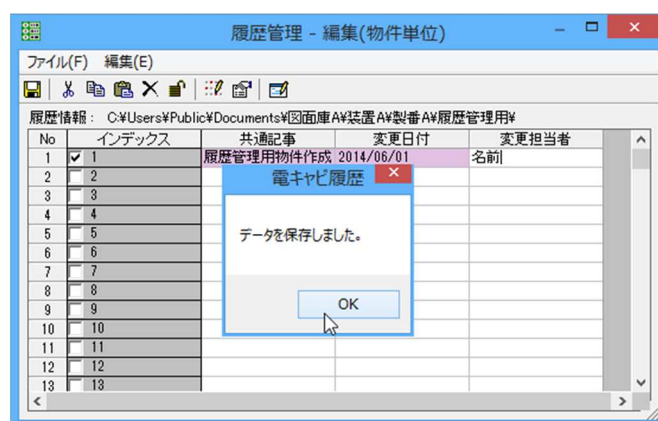
をクリックします。

14. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。

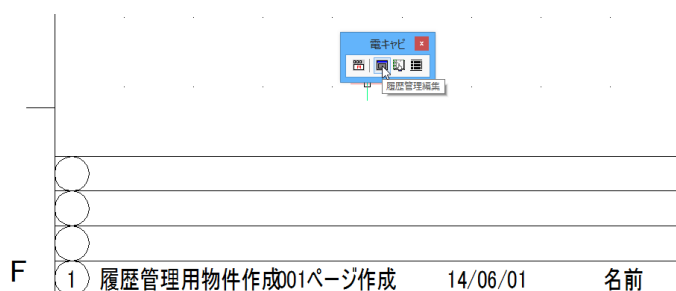
15. 履歴設定-編集(物件単位)が終了し、電キャビに戻ります。

インデックス1を新しく付加したページを選択し、開きます。



16. 電キャビツールバーから[履歴管理編集]アイコンをクリックします。

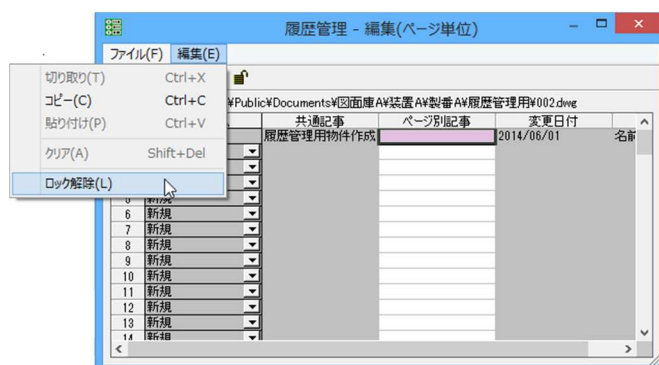
※物件単位情報は更新していますが、ページ単位情報は、コピー元の“001”と同じでまだ更新されていません。



17. ページ別記事欄のロックを解除します。

インデックス1行の「ページ別記事」項目を選択します。

[編集]-[ロック解除]を選択します。

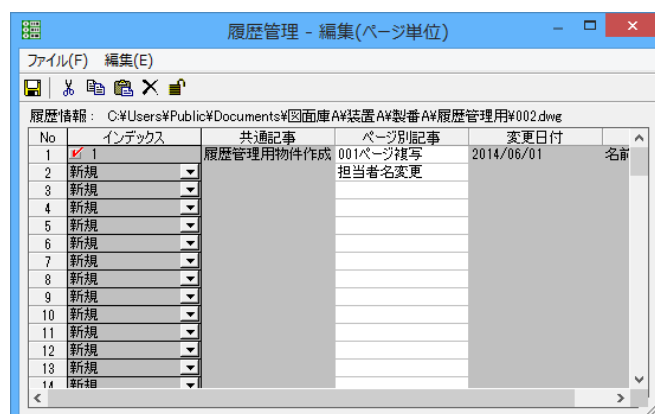


18. ページ別記事を編集します。

インデックス1: 001ページ複写

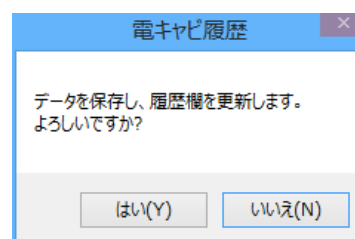
新規 : 担当者名変更

[ファイル]-[保存]を選択します。

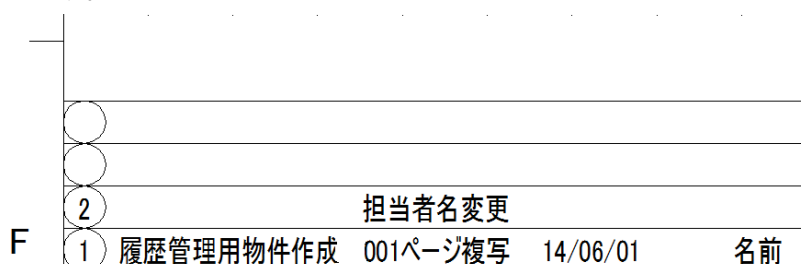


19. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。

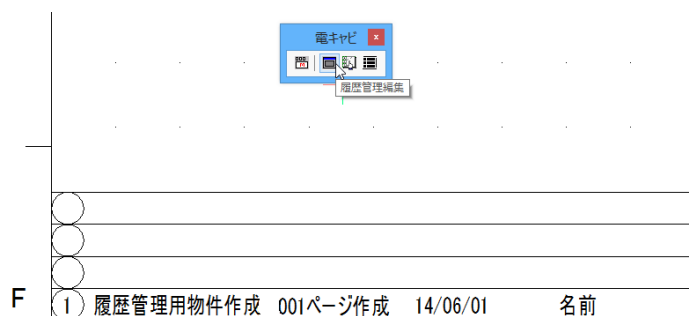


20. 履歴管理-編集(ページ単位)が終了します。
履歴欄が更新されたことが確認できます。



21. 003ページを開きます。

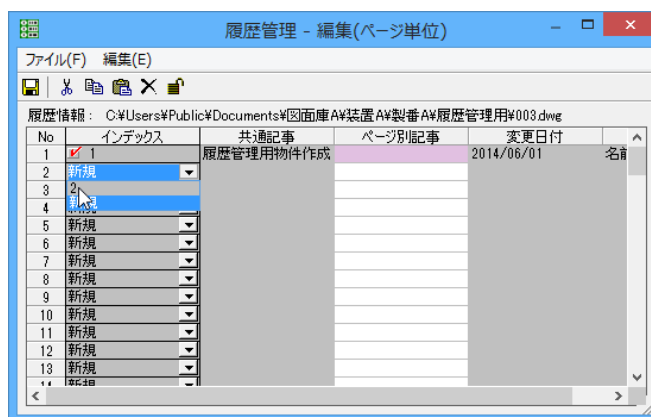
電キャビツールバーの[履歴管理編集]アイコンをクリックします。



22. 履歴管理-編集(ページ単位)ダイアログが表示されます。

インデックス2を追加します。物件内にすでにあるインデックスを割り当てる場合はインデックス欄から選択します。

インデックス欄の[▼]をクリックし、“2”を選択します。

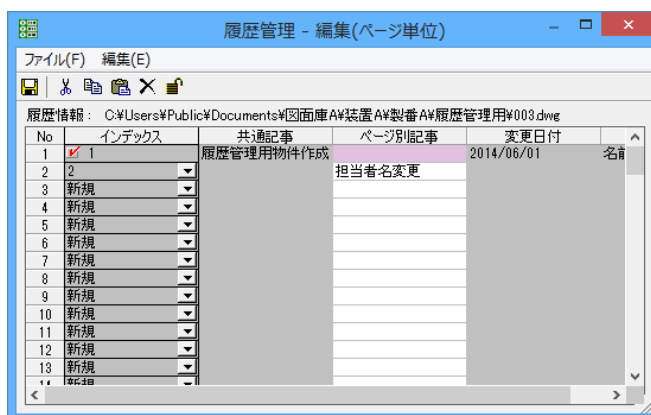


23. インデックス1行目のページ別記事欄のロックを解除し、内容を編集します。

インデックス1 : 001ページ複写

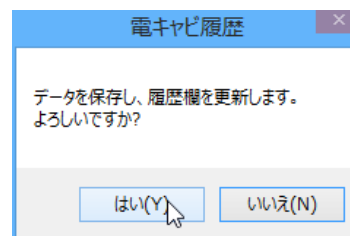
インデックス2 : 担当者名変更

[ファイル]-[保存]を選択します。



24. 確認のメッセージが表示されます。

をクリックします。



25. 履歴管理-編集(ページ単位)が終了します。

履歴欄が更新されたことが確認できます。

26. ACAD-DENKIは終了します。

F

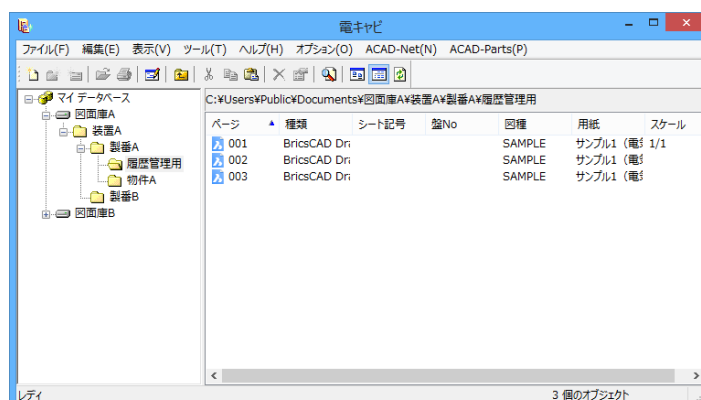
2	担当者名変更			
1	履歴管理用物件作成	001ページ複写	14/06/01	名前

3-3-1. 情報の確認

転記した情報を確認します。

1. 電キャビに戻ります。

[ツール]-[履歴編集]を選択します。



2. 履歴管理-編集(物件単位)が表示されます。

[ファイル]-[インデックス編集]を選択します。



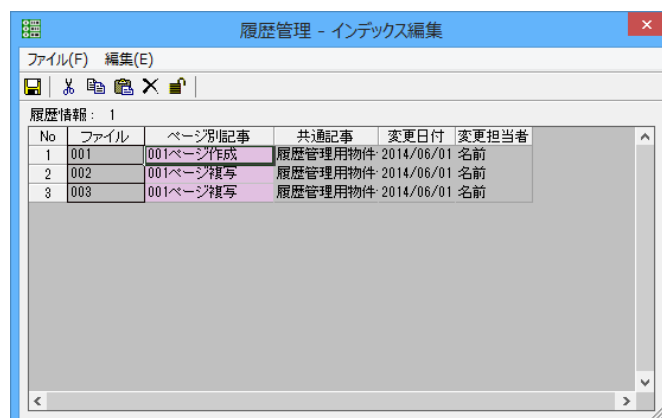
3. 履歴管理-インデックス編集ダイアログが表示されます。

ファイルごとに履歴情報の確認ができます。

ここでは、ページごとの情報(ページ別記事)を編集することが出来ます。編集した内容を図面に更新する場合は、保存後、履歴管理-編集(ページ単位)ダイアログからの保存が必要です。

ここでは確認のみです。

履歴管理-インデックス編集ダイアログを終了し、履歴管理-編集(物件単位)ダイアログを終了します。



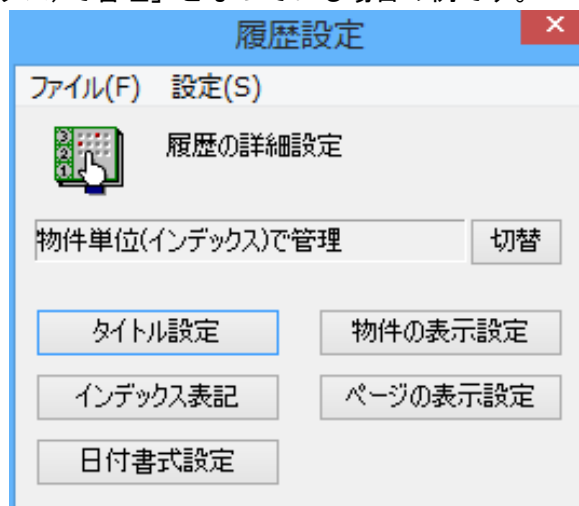
3-4. 履歴管理編集での注意点

履歴管理編集を行う場合の注意点を説明します。

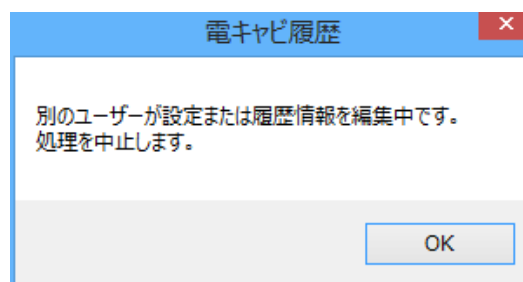
3-4-1. 物件単位の物件とページの履歴編集

図面の履歴欄への反映の整合性を取るために、履歴管理-編集(物件単位)と履歴管理-編集(ページ単位)ダイアログを同時に起動することは出来ません。

電キャビツールバーアイコンから[履歴設定]をクリックします。
「物件単位(インデックス)で管理」となっている場合の例です。



「履歴管理-編集(物件単位)」と「履歴管理-編集(ページ単位)」ダイアログを同時に起動しようとした場合は図のようなメッセージが表示されます。



この場合は、履歴情報を更新する正規操作のダイアログのみを表示して処理を実行してください。

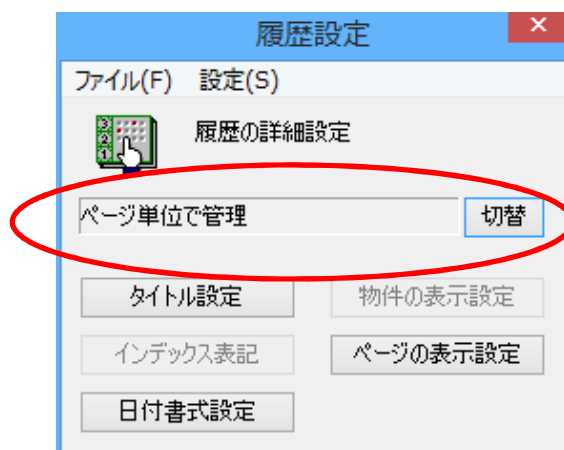
3-4-2. ページ単位の履歴編集

本マニュアルでは主に「物件単位」での履歴編集を説明しています。

ページごとの履歴管理をされる場合は、[履歴設定]でページ単位に切替えて運用してください。

ページ単位のインデックスは[インデックス表記]のデフォルトになります。

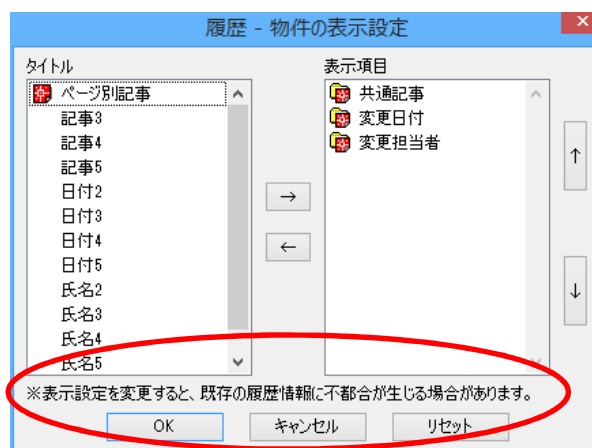
アルファベットに変更したい場合は、「物件単位(インデックス)で管理」に切替え、[インデックス表記]を変更後、再度「ページ単位で管理」に切替えてください。



<div> <div>12</div> <div>18</div> <div><</div> <div>></div> </div>			
<div> <div>○</div> <div>○</div> <div>○</div> </div>			
F	1 回路変更	14/06/01	担当A

3-4-3. 表示設定について

履歴管理編集を運用途中に表示設定の編集を行う場合、図のように「※表示設定を変更すると、既存の履歴情報に不都合が生じる場合があります。」という警告が表示されます。



運用途中で表示設定を変更する場合は、既存図枠に設定している履歴欄、編集内容を考慮していただき、設定内容と図枠に配置された内容に違いが生じないように編集してください。

電キャビ2019トレーニングマニュアル(応用編)

2018年7月 第 1 版発行

発行者

図研アルファテック株式会社

<http://www.alfatech.jp/>
